

尋の賦あり。世其美を稱す。  
 エンクワウ 垣園 (南北)字は叔通。榮祖の従子。父遼、宋に仕へて員外侍郎たり。閩、中郎參軍たり。三州刺史を歴て樂郷男に封ぜらる。初め齊高帝、子晃の爲めに閩が女を求む。閩曰く、齊は大にして偶ふ非ずと。即位するに及び、誠心あるを以て封爵故の如し。子傳伯、射を善くし、巴西梓潼太守を歴す。  
 エンクワウコウ 袁皇后 (南北)名は齊嬀。宋の文帝の后。陳郡陽夏の人。左光祿大夫湛之の庶女。初め宣帝王妃に拜し、子劬東陽獻公主英娥を生む。上后を待する恩禮甚だ篤。袁氏貧薄、后毎に上に就て錢帛を求めて之に贈る。元嘉十七年崩す。詔して隆を元といふ。  
 エンクワウダウ 袁安道 (明)字は中郎。公安の人。宗道の弟。社を城南に結び諸生を教へ。詩文妙悟を主とす。萬曆間吳縣に知たり。聰敏決意に滯事なし。日に談論して詩を賦し風雅を以て期す。病を耐し歸り數月にして卒す。  
 エンクワウテイ 袁光廷 (唐)天寶中、安嶽山難を構ふ。西北の戎兵悉く入り援く。故の河隴の郡縣皆吐蕃に陷る。惟だ河西の戎將袁光廷、伊州刺史となり、固守して年を歴、遊説百端すれども終に降らず。諸下心を同じくして携叛する者なし。糧竭くるに及びて手づから妻子を殺して自ら焚死す。建中初、工部尚書を贈る。

エンクワウフ 袁光字 (唐)天寶間、台州刺史となる。沈徐期贈りて曰く、公、四代衣冠、一門忠節、文才沈毅、雅度溫良、甘雨隨うて往還し傳はり、仁風交り期月に屬がんと。果して其言の如し。貞吏となす。  
 エンクワクシ 袁廓之 (南北)字は思度。陽夏の人。父の非命に死するによりて、終身音樂を離れず。布衣蔬食、足月を出でずすと云ふ。顔延之、毎に見て歎じて曰く、子あり袁廓之の如くならば足ると。後、齊に仕へて太子洗馬となる。  
 エンクワチウ 袁化中 (明)字は民階。武定の人。萬曆間の進士。御史に擢拜せらる。魏忠賢の專權にして上を無みするの罪を上言す。疏入る、忠賢大に恨み。其黨をして誣ゆるに誠難を以てせしむ。拷掠甚しく獄に墮る。崇禎の初太僕卿を贈る。臨王の時忠愍と追諡す。  
 エンクワン 袁漢 (三國)字は曜卿。陳郡の人。劉備、漢を漢才に譽ぐ。後曹操に歸して沛南郡尉に拜せられ、樂相と遷る。毎に諸將に勅して謙寡高年を存し孝子貞婦を褒す。常に曰く、世治まれば則ち禮節に、世亂るれば則ち禮節なり、全く勸諭に在り。魏の初めて建つや御史大夫の事を行ふ。子侃。  
 エンクワン 袁環 (晉)字は山甫。陽夏の人。元帝の時、萬令たり。其弟猷、江都令たり。名を江淮の間に齊しうす。時人之を

エンケイ 袁京 (漢)安の子。字は仲譽。少にして進取の志なし。縣城の東北隅五里山に隱居す。後人其姓に因り遂に名けて袁山と曰ふ。豫章太守、京の爲に高士坊を立て孟氏の勇を習はしむ。魏罪三十萬言を作る。後、官、侍中に至る。京の子質、彭城の相となり、官に卒す。  
 エンケイカン 袁繼成 (明)字は季通。宜春の人。天啓五年の進士。行人たり。崇禎中、兵部右侍郎兼右僉都御史に遷る。福王元年清に破られ、執へて殺さる。  
 エンケイクワン 袁啓觀 (明)雲夢の諸生。崇禎中、李自成の兵、城に據る。啓觀衆に立ちて自ら守る。賊執へて去る。題を出して之を試む。啓觀曰く、汝既に文を知る。亦亂臣賊子、人人得て之を誅するを知らるか。賊怒て殺す。  
 エンケイテキ 袁啓進 (清)字は士且。宣城の人。其詩疎厲頓挫、古人に抗衡するに足る。著、中江紀年稿あり。  
 エンケイトウ 袁繼登 (明)南畿の人。家を遺賢に起す。任に汲みて未だ決談ならずして變に遭ふ。時に崇禎十六年十月なり。殷復興を佐けて守る。賊に得られ速に死せんことを求む。賊之を殺す。  
 エンケウ 袁香 (晉)字は彦叔。環の子博

學にしてあり。桓温、詳して司馬となす。就かす。尚書郎に拜せらる。温を佐けて蜀を平じ、龍驤將軍に遷じ。子崧。  
 エンケン 袁憲 (南北)字は德章。幼にし聰敏。陳宣帝の朝、右僕射となる。嘗て宴に承香閣に倍す。帝席を山亭に徙し、賦ありと。憲の兄福、左僕射となる。憲省、福を目して太僕射となし、憲を小僕射となす。子期、承序。  
 エンケン 袁顯 (宋)益陽の人。矮身長。勇敢人に過ぐ。建興の間、湘寇楊么猖獗なり。顯、縣宰魏舞臣に請ひて鄉民を圍して以て待つ。一日、賊衆を傾けて來り戦ふ。顯、力を極めて鏖戦し、賊の爲めに得らる。之を用ひんと欲す。顯を罵りて屈せず。么、諸を船縛に置て死す。舞臣、之を哀み、禮を具へて以て祭る。  
 エンケンノツマ 袁堅妻 (明)方氏。金華の軍士袁堅の妻。堅酒を嗜み家を敗る。卒して城北濠上に瘞す。實にして依る所無し。乃ち瘞所に就き棺を置き其中に瘞處し、出でずして死す。郡守爲めに土を封し之を祭る。  
 エンケンリヨウ 袁見龍 (明)天啓中、官部司たり。清兵を瀋陽に拒きて戦死す。贈郵制の如し。  
 エンコ 袁固 (漢)齊人。詩を治む。景帝の時、博士となる。廉直を以て清河王の太傅に拜せられ、疾を以て免ぜらる。武帝立

ちて復た賢良を以て徵す。諸儒多く疾み之を毀りて、固老いたりと曰ふ。罷め歸るの時、年已に九十餘。公孫弘、亦徵さる。目を削て、固に事ふ。固曰く、公孫子、正學を以て言ふを務めよ、曲學を以て世に阿るな。れと。諸の齊の詩を以て讀はる、者は皆固の弟子なり。  
 エンゴ 圓悟 (清)高僧。宜興の人。姓は蔣氏。家貧にして樵採を業となす。後出家して龍池山幻有に從つて心印を傳へ大に隨濟の正宗を唱ふ。門學市の如し。崇禎七年七月七日示寂す。壽七十七。法を嗣ぐもの五峯學、野耐、破山明、徑山容等十二人あり。  
 エンコウ 袁弘 (漢)固の子。字は紹甫。其門族の貴勢なるを耻ぢ、乃ち姓名を變じて而門に徒歩す。徵辟に應ぜず。家に終ふ。  
 エンコウ 袁典 (明)全椒の人。續孺子月に歿す。嘗て雲南を征するに方り自ら請て先鋒となり、陣に陥り死す。厚く褒贈せらる。  
 エンコウシヤウ 袁孔璋 (明)字は叔賢。吳縣の人。山水精秀、用筆荷もせず。  
 エンコウユ 袁洪胤 (明)字は抑之。吳縣の人。嘉靖二十六年の進士。世宗穆宗神宗に歴事し吏部尚書に累擢せらる。年を引き休を乞ふ。朝廷其清徳を重んじ太子少保を加ふ。卒する年七十四。太子少保を贈り安節と諡す。  
 エンコク 袁毅 (宋)字は齊直。鄞縣の人。

嘉祐中の進士。少にして詞賦を以て名を得。知邵武軍たり。權法の利害を條し以て民に便じ、奏して其謀を藏す。邵人之を祠る。朝興大夫に累官す。豐博く群書を貫く。著す所、類類百卷あり。  
 エンゴシ 垣護之 (南北)苗の子。字は彦宗。少にして儒術。氣幹強果。宋に仕へて殿中將軍となり、龍驤太守に累遷す。魏宣反す。護之、水兵を率めて大に賊將を破る。益陽縣侯に封せられ、齊冀二州刺史に拜せらる。尋いて徵されて右將軍となる。卒して壯侯と諡す。護之の兄詢之。  
 エンサン 袁燦 (南北)字は景倩。少にして孤、好んで書を讀む。長ずるに及びて風操あり。嘗て妙德先生傳を著す。宋に仕へて左僕射に累官す。出で、石頭城を鎮す。宋の順帝の時、蕭道成が篡奪の意あるを知りて之を誅せんとし、却りて道成の爲に殺さる。子最、身を以て父を衛る、俱に死す。燦、最に語りて曰く、我は忠臣たるを失はず、汝は孝子たるを失はずと。燦、疎放に於て酒を好む。嘗て白楊野間に散步す。道に一士人に遇ふ。便ち呼んで與に酣飲す。明日此人知遇せらると謂ひて門に詣りて遇を求む。燦曰く、昨日酒を飲むに偶なし、故に相借にす、何ぞ復た煩しきをなすを殊せんぞ。燦、嘗て周旋に謂て曰く、昔一國中に水あり、名けて狂泉と曰ふ、國人之を飲み狂せざるものなし、惟獨君のみ井を穿ちて汲み、獨狂せざるを得、國人既に皆狂



す、反つて國君の不狂を謂て狂となす、是に於て共に國君を執らへて其狂疾を療せんとし、火艾鍼藥具はる、國君其苦に勝へず、是に於て泉所に到りて泉を酌みて之を飲む、飲み畢れば復ち狂す、君臣大小其狂一の如し、衆乃ち歎然たり、我既に狂せず、以て獨立し難し、比る亦試に此水を取らんと。

エンサンシヨウ 袁山松 (晉)陽夏の人。少にして才名あり、博學にして文あり。後漢書一百卷を著す。雅情秀發。音樂を善くす。舊歌に行路難曲あり、辭頗る疎質。山松之を好み、乃ち其辭句を文り、其節制を婉にす。醜醉して之を縱歌すること、聽く者涕を流さざるなし。初め羊曇唱樂を善くし、桓伊挽歌を能くす。山松の行路難之に繼ぐに及んで、時人之を三絶と謂ふ。時に張湛、好んで舊曲に於て松相を稱う。山松、世遊すること、好んで左右をなし、挽歌を作さしむ。人、溝口屋下に戸を陳じ、山松は道上に曠を行ると謂ふ。吳郡太守に歴官す。孫恩、亂を作し、城陷り害せらる。エンジ 袁滋 (唐)は德深。憲の後。華州刺史となる。政清簡。流民至る者は水を給して之に居らしめ、其里を名けて義合といふ。慈惠を以て本となし、民之を愛向す。遊行や、耆老道を遮りて之を留む。代る者楊子陵論して曰く、吾敢て袁公の政を易へずと。人皆羅拜して去るに忍びず。

エンシウコ 袁終古 (漢)功臣。梁侯侯。...

エンシシヨ 袁子初 (明)字は叔育。上虞の人。江右に流寓す。梅を寫して王元章の法を得たり。

エンシセキ 袁師興 (宋)震安の人。紹興中の進士。師興の父季純、兄師允、父子兄弟相繼ぎて科に登る。郷人之を榮とす。エンシツ 袁質 (南北)字は道和。漢より質に至るまで五世、並に道業を以て業を繼ぐ。惟だ其父就のみ雄豪を以て聞ゆ。質に及んで父又奉行を以て稱せらる。官、瓊郡内史東陽太守を歴す。エンジンケイ 袁仁敬 (唐)開元中、杭州刺史となる。時に玄宗自ら諸司長官を擢び、仁敬を以て抗に刺たらしむ。宰相王鉅史以上に附して洛濱に祖道せしめ、鉅を賜ひ親り書して以て其行を寵す。仁敬、洛郡の暇、嘗て九風松を種う。エンジンケツ 袁人傑 (唐)無爲の人。唐末、齊賊充斥す。人傑、土豪を以て強壯を招集し一方を保障す。賊大に入る。人傑、身を挺して血戰す。去る能はざるを度り、天を仰ぎて大に呼び、自ら割れて死す。尸僅立する者果日。賊驚異し其境を會て、遺れ去る。郷人、收め葬り祠を立て、之を祀る。エンシシユ 袁申儒 (宋)理宗の時、知常德府事たり。善政民に及び、文學を興し、士風を厚くす。嘗て江南に於て田一畝を籍没し、買士莊と名づけ、以て省に入るもの

に資す。...

エンシヤウ 袁敏 (南北)燕人。二子選、苗と晉に歸す。敏、龍驤將軍に拜せらる。苗の子を護之といふ。エンシヤウセン 袁敏先 (五代)紹己の後なり。梁の甥たるを以て、宣武軍を領し、歩軍都指揮事となり、平盧軍節度使に歴官す。勳勞あり。莊宗之を待すること甚だ厚し。姓名を賜うて李紹安となし、宣武軍を改めて歸德軍となして曰く、歸德、名は柳の爲めに殷くるなりと。之をして鎮に遷らしむ。是歲卒す。年六十二。太師を贈る。エンシヤウトウ 袁尚統 (明)字は叔明。吳の人。明末の書家。山水渾厚人物野放、頗る宋人の筆意を得たり。エンシヤク 袁灼 (宋)毅の子。進士。第す。官、尚書倉部郎中に至る。城守たり。武臣曹宗が東京の姻黨にして數く法を犯す。灼、獄に罹れて死せしむ。京怒り、其秩を削る。後、倉部となる。上疏するに清心事を省き安くして危きを忘れざるを以てす。官を爲す甚だ切直なり。黜けられて泗州に知たり。エンシユク 袁淑 (南北)字は冠當。時に赤鸚鵡賦を作る。謝莊が賦を見るに及びて嘆じて曰く、江東に我なくんば、痛當に獨歩すべし、我若し痛當なくんば、亦一時の傑なりと。宋元嘉中、官、衛左率に至る。道勸、文帝を諷するに及びて、淑、切諫して殺さる。孝武帝、兵を起して勸を誅す。遂

に資す。...

に資す。...

エンジユツ 袁術 (漢)安の玄孫。獻帝の時、兵を南陽に起して黃巾を討す。己として選りて壽春に據る。袁、漢に代る者は遂に當りて高しと言ふを以て、自ら云ふ、名字之に應ずと。遂に帝を稱し淫侈甚し。既にして資置空虛にして自立する能はず。奔りて袁紹に依らんと欲す。曹操、劉備を遣して之を遊へしむ。術走り還り血を嘔きて死す。

エンジユン 袁術 (南北)術の子。エンシユンエイ 袁術 (清)字は石生。祥符の人。書畫を善くす。山水墨竹を寫す。筆法を事とせず、自ら家法を成す。孝廉を以て平原令たり。廉靜にして民を愛し惠政あり。碑誤を以て去り、戸を閉ぢて外事に興らず、詩畫自ら娛む。エンジユンシ 袁術 (南北)術の兄。驍勇にして力あり。關山の役、力戦して流矢に中りて卒す。冀州刺史を贈る。子榮祖。エンシヨウ 袁崧 (晉)番の子。少にして逸才あり。吳郡太守に累官す。孫恩の亂、流濱城を力守して之に死す。エンシヨウ 袁昇 (宋)鄆縣の人。初め郡吏たり。五旬にして子無し。其妻、貨を付して臨安に往き藥を買はしむ。既に妾を得。其の妾色あり且麻を以て藥を束ぬるを見て之を問ふ。泣いて曰く、妾は乃ち趙知府の女なり、四川に棄す、且つ貧なり、母、妾を棄きて歸葬の責となす耳と。昇即ち送り

に資す。...

エンシヨウジヨ 袁承序 (南北)憲の次子。唐太宗、僚屬を崇擢して、梁陳の名臣の子弟誰か可なる者ぞと問ふ。學者岑文本曰く、昔陳亡びて百司奔散す、袁憲朝服して後主の傍に立ち、白刃をも避けず、其子承序、風塵漂亮にして先烈に愧づるなしと。乃ち召して晉王の友に拜す。

エンシヨク 袁式 (南北)字は秀祖。父梁、晉の侍中たり。式、武陵王蕭暉參軍を歴。司徒掾と一面して便ち國士の交をなす。式、故事に博し。治、草創する所ある毎に、顧みて之を訪ふ。呼んで袁語と曰ふ。エンシヨク 袁植 (宋)字は材老。無錫の人。崇寧の進士に登りて同學無錫尉に第す。監察御史となる。金人入寇す。邊防十三事を陳し、倭人を誅するを以て先となす。納られず。疾を引て休致す。建炎、召して左司諫とす。直言して宰臣に忤ふ。黜けられて南陽に守たり。會々虜騎大に入り、時臣李九文、衆を推して亂を怙む。植、其狀を條奏す。遂に害に遇ふ。九文誅せられて、植に無錫尉を贈る。エンシウ 袁植 (南北)字は踐百。陽夏の

に資す。...

エンシウ 袁植 (南北)字は踐百。陽夏の

エンセウ 袁韶 (宋)字は彦醇。昇の子。淳熙中の進士。左衛中となる。詔して金使を逆へしむ。使人儀幣を索む、語慢なること甚し。韶曰く、昔、主相約して止た幽州に輸すを聞か、津に往くを聞かずと。使者語惑る。後、浙西制置使となる。卒して太師越國公を贈る。エンセフ 袁贊 (宋)字は和叔。鄆縣の人。

に資す。...



淳熙中の進士第一。蘭子祭酒禮部侍郎に果官す。學師承あり、文氣濃厚。毎に言ふ、人心は天地と本を一にす、精思以て之を爲し、兢兢以て之を守らば、則ち天地と相似んと。卒して正獻と諡す。子甫。

エンゼン 袁善 (明) 雲南の人。賊至り雲南を圍む。善之を攻め破る。繼で大小百三十三戰、斬首四千六百餘級、捷を宣し廟に告げしむ。崇禎の初卒す。指揮軍事を贈る。エンソウ 爰曾 (漢) 字は子路。東平の人。劉翽と兵を盧城頭に起し、其兵を號して頭子路となす。光武の時、萊郡太守に拜せらる。

エンソウクワン 袁崇煥 (明) 字は元素。東莞の人。萬曆四十七年の進士。知縣たり。天啓中、兵部職方主事に擢らる。崇禎中、兵部尚書兼右僉都御史に進む。國勢の日に非なるを視、據つて以て叛す。竟に執られて市に磔せらる。

エンソウジユ 袁宗儒 (明) 字は醇夫。雄縣の人。正徳三年の進士。御史に除せられ大理寺丞に擢んづ。嘉靖三年大禮を争ひ廷杖せらる。左副都御史に累遷す。隣に承天に扈し京に還りて卒す。

エンソウワ 垣崇祖 (南北) 詢之子。字は敬遠。年十四、幹略あり。護之曰く、此子必ず吾門を高大にせんと。瑛邪關陵太守を歴。齊高帝、踐許す。徙りて豫州刺史となる。魏、宜春を攻む。乃ち堰を立て、泥水を塞ぎ小城を起す。長史に謂て曰く、碑必

ず小城を攻めん、即ち堰を破り水を放たば、豈少しく溺死するに非ずやと。魏軍果して溺死するもの數千。即ち退走る。後、功を以て都督に進む。崇祖の從兄榮祖。

エンソウダウ 袁宗道 (明) 字は伯修。公安の人。兄弟三人並に才名あり。時に三袁と稱す。萬曆間會試第一。編修官と爲り卒す。後、禮部右侍郎を追贈す。エンタウ 袁湯 (漢) 京の子。字は仲河。少にして家學を傳ふ。時儒其師を稱す。桓帝の初、司空たり。豫め聽して策を定むるを以て、安國季侯に封せらる。

エンタウ 袁滂 (清) 字は嘉瑞。吳縣の人。鳳江に家す。小園あり、水石の勝に饒なり。鎮竹汀、玉西莊、段雲室、玉蘭泉諸公と、經を學びて相賞讃す。生平、書として癡はざるなし。尤も訓詁の學に精し。エンタン 袁譚 (漢) 紹之子。兵を率ゐて襄陽に出て、曹操に破らる。遂に劉表に奔る。

エンタン 袁統 (晉) 字は彦道。陽夏の人。少にして才あり。個儒不羈、士類の爲めに稱せらる。桓温、少時博學に遊び、資産俱に盡き、負道あり、目振の方なく、出づる所を知るなし。濟を統に求めんと欲す。而して統、難に在り。試に以て告ぐ。躬、喜ば難色なし。遂に服を纏ぎ布帽を裳にし温に隨て債主と戲す。統、驍名あり。黨を債者之を開けども而も相離らず。之に隨て

に之に勝れり。子客師。エントウダウ 袁登道 (明) 字は道生。強名と號す。東莞の人。文學あり。書をよくす、山水は胡宗仁を宗として之に特する。エンパイ 袁枚 (清) 字は子才。簡齊又は隨園と號す。錢塘の人。乾隆四年の進士。官、知縣に至る。年四十にして意を仕途に絶ち、隨園を江寧城西に闢り吟詠著作に娛む。枚の文、才思空湧、奇想天外、善く人の意中の蘊結を解けり。然れども或は藩肆浮薄に陥るものなしとせず。嘉慶二年、年八十二にて卒す。

エンハウ 袁彭 (漢) 安の子。京の子。少にして家學を傳ふ。黃漢南陽太守を歴。順帝の初、光祿勳となる。行至つて清し。粗袍褌衣す。離郎尙書に終ふ。胡廣等其清澹を追慕して、前朝の賈萬第五倫に比す。當時皆之を嚆矢す。エンヒ 袁術 (漢) 忠の子。郡の門下諸生となる。黃巾起る。術、太守に從て之を擊つ。軍敗れ、秘、功曹封觀等と七人、身を以て操護し、皆陣に死す。太守以て免る。詔して秘等の門閭を號して七賢と曰ふ。

エンヒン 袁彬 (明) 字は文質。江西新昌の人。正統の末、錦衣校尉を以て帝の北征に扈す。土木の變、帝を萬死。脱す。天順中、指揮同知に擢てらる。成化中、都督僉事の官に奉す。エンピン 袁敏 (明) 金齒衛知事なり。英宗の北征に從つて還り、遂に土木の變起る。

曰く、卿常は袁彦道を作すを辨せざるべしと。遂に扇に就き、十萬一擲して直に百萬に上る。統、馬を投じて絶叫し布帽を擲りて地に擲ちて曰く、竟に袁彦道を識るや否やと。其通脱なること此の若し。エンタン 袁孝 (南北) 字は緯才。陽夏の人。宋に仕へて武陵内史となる。兄顔誅せらる。宋明帝、尸を江中に投ず。孝、舊奴一人を徴服して尸を求むること四十餘日にして乃ち得たり。密に石頭後岡に埋め、尋いで改め葬る。初め孝幼にして母卒す。伯母王氏に養はる。孝遂に之に事ふること母の如くす。

エンタン 袁滂 (南北) 字は士深。陽夏の人。宋武帝、以て許驎參軍となす。司馬尙書に累官す。弟豹、學を好み博聞なり。御史中丞となる。豹の子淑、縱橫才辨あり。太子左衛に累官して卒す。淑の兄洵。洵の子頭。頭の子昂。皆名あり。エンタンシン 垣崇深 (南北) 詢の子。行轡を以て稱せらる。臨城縣となる。魏に歸る。魏十萬を以て宅を買ひ兄を奉す。退いて収蓄なし。

エンチ 圓智 (唐) 高僧。張氏。豫章海昏の人。法を藥山に闡ぐ。潭州道吾山に住す。太和九年九月十一日示寂す。勅して修一大師と諡す。エンチウ 袁忠 (漢) 字は正甫。彭の孫。同郡の范滂と友たり。初平中、沛相たり。清亮を以て稱せらる。後官を棄て、地を會

敏、跳還上書して其危難を救ふ。エンフジン 袁夫人 (三國) 吳の孫權の妃。袁術の女。節行あり。子無し數々諸姫の子を興へて養はしむ。育せず。歩后薨するに及び、之を立てむと欲す。妃自ら子無きを以て固辭して受けず。後潘后の譖を以て害せらる。エンブンカ 袁文可 (明) 山水人物を善くす。

エンフヤク 袁不約 (唐) 字は選樸。新城の人。長慶三年の進士に登る。又平判に試みられて等に入る。仕へて職方員外郎に至る。袁不約集一卷あり。エンハウ 袁豹 (晉) 字は士蔚。陳郡の人。隆安中、著作佐郎となる。大尉長史并陽尹に累遷す。殷仲文、天才宏瞻にして讀書甚だ博からず。傳亮、嘆じて曰く、若し殷仲文をして書を讀むこと袁豹に半ばせしめば、才班固に減せずと。

エンベウ 垣苗 (南北) 敬の子。護之の父。エンベン 袁沔 (宋) 通州の人。未だ冠せずして太學に遊ぶ。墳墓の隳、騎將再び至る。慨然として上書して言ふ、當に東成阜に據り西河池に臨み、戰士を以て講。巢穴を掃くべし、則ち城下の師自ら解かん。報せず。已にして城陷る。沔、漢中に歸り、乃ち險を防ぎ敵を制する五事を畫す。其後、蜀に應じ、復た十二事を條し、力めて諛佞を詆る。事を用ふる者之を辱む。沔、用ひられざるを度り、衣を拂つて歸る。

積に避く。孫權、台稽に起るに及びて、忠海に浮び交趾に至りて之を避く。エンチン 袁鎮 (宋) 奉化の人。親を養ひ孝謹にして百事備はり至る。顯神といへとも温清の禮を發せず。熈平の初、父年七十、病瀕して醫禱あらす。乃ち一再股を割き藥に和して以て進む。父の病、絶ゆるに垂んとして復た存するもの十有五年。異母兄之を慮する者あり。鎮、友事益々謹み、孝弟の精あり。エンチウダウ 袁中道 (明) 字は小修。安道の弟。性豪邁。兩兄に從ひ京師に遊ぶ。足跡天下に半なり。萬曆末の進士。天啓間、南京東都郎中に歴官して卒す。

エンチウテツ 袁忠徹 (明) 字は靜思。珙の子。父の相術を傳へ、吉凶禍福奇中神の如し。宣徳の初、帝の容色を視て曰く、七日の内宗室叛を謀る者あるべしと。漢王果して反す。事に坐し休致二十餘年。卒する年八十餘。著す所、人相大成、風池陰陽、符籙外集あり。エンチヨ 袁著 (漢) 汝南の人。年十九、梁冀の凶縦なるを見て上書して之を劾す。冀之を殺す。

エンチヨク 袁陟 (宋) 杭の子。學を好み善く詩を爲る。登第して、殿中丞に至る。エンテンカウ 袁天綱 (唐) 成都の人。風鑑あり。應驗記するに勝ふべからず。太宗召見して曰く、古に君平あり、朕今爾を得如何。對へて曰く、彼は時に遷はず、臣固

エンチン 袁中 (明) 字は伯修。公安の人。兄弟三人並に才名あり。時に三袁と稱す。萬曆間會試第一。編修官と爲り卒す。後、禮部右侍郎を追贈す。エンタウ 袁湯 (漢) 京の子。字は仲河。少にして家學を傳ふ。時儒其師を稱す。桓帝の初、司空たり。豫め聽して策を定むるを以て、安國季侯に封せらる。

エンタウ 袁滂 (清) 字は嘉瑞。吳縣の人。鳳江に家す。小園あり、水石の勝に饒なり。鎮竹汀、玉西莊、段雲室、玉蘭泉諸公と、經を學びて相賞讃す。生平、書として癡はざるなし。尤も訓詁の學に精し。エンタン 袁譚 (漢) 紹之子。兵を率ゐて襄陽に出て、曹操に破らる。遂に劉表に奔る。

エンタン 袁統 (晉) 字は彦道。陽夏の人。少にして才あり。個儒不羈、士類の爲めに稱せらる。桓温、少時博學に遊び、資産俱に盡き、負道あり、目振の方なく、出づる所を知るなし。濟を統に求めんと欲す。而して統、難に在り。試に以て告ぐ。躬、喜ば難色なし。遂に服を纏ぎ布帽を裳にし温に隨て債主と戲す。統、驍名あり。黨を債者之を開けども而も相離らず。之に隨て



エンホ 袁甫 (宋)字は公甫。嘗て助に請りて自ら能く職を治むと旨ふ。助曰く、唯宰縣を欲して奉聞の職を求めざるものは何ぞや。曰く、人各能あり不難ありと。乃ち職令に除す。

エンホ 袁甫 (宋)字は廣。雲子。嘉定中の進士第一。楊簡に學ぶ。簡曰く、學は自得を以て貴しとなす。是より慨然として斯道を以て自ら任ず。國子監直學官に累官す。卒して正廟と諡す。著、孝說、孟子解、及び文集あり。世に行はる。

エンホウ 袁達 (漢)安の曾孫。字は周陽。累世三公の子にして、官歴高貴なるを以て、時に譽稱せらる。官、司空に至る。子、基位、太僕に至り、弟、隲、官、太傅に至り、世々侍中官に列す。

エンホウキウ 袁達吉 (宋)字は延之。鄆陵の人。嶠、大理評事たり。達吉、四歳にして能く爾雅孝經を誦し、七歳にして論語尚書に兼り通す。開寶中、三傳に擢てられて第す。鴻臚少卿。累官す。性、修謹にして、事務に練達す。子、成、京東轉運副使たり。從子、楚材、成部員外郎たり。

エンモク 袁默 (宋)字は惠正。無錫の人。嘉祐の進士。官、湖北轉運使判官に至る。學問淵深、時の宗とするとゐるたり。

エンヤウ 袁羊 (晉)字は彦升。陳郡の人。孝武帝に孝經を講せんす。謝公兄弟諸人と私庭に講習す。車武子難問に苦み、因て羊に詰ひて曰く、問はざれば則ち德音遠るあり、多く問へば則ち重く二謝を勞すと。袁曰く、必ず此嫌なし。車曰く、何を以て爾を知るや。車曰く、何ぞ嘗て明に腰、照すに彼の清流寒風に憚るをけんやと。

エンヤウ 袁瓌 (南北)字は景。博學俊才、性、俗を矯めず。其兄、嘗て人より謂て曰く、瓌は我が家の千里駒なりと。尚書郎兵部中郎將常侍に歴任す。

エンラウ 袁朗 (南北)憲の子。陳後主に仕ふ。命じて月賦一篇を爲らしむ。灑然として思を留むるなし。後主曰く、謝莊、美を前に擡にするを得ずと。復、詔して芝草嘉運三頌を爲らしむ。帝嘆賞尤も厚し。高宗の朝、給、中となる。

エンリテイ 袁利貞 (唐)字は敬孫。高宗の時、太常博士となる。帝大に羣臣命婦を會して宣政殿に宴せんと欲す。利貞、上疏して諫めて以て命婦宴會の所に非ずとなす。帝、之を納れ、詔して曰く、卿、突葉忠銀、能く抗疏して朕の失を規す、厚く賜段を賜ふ。

エンロン 苑論 (唐)字は貫。元和中柳子厚と聯第す。柳拜して之に兄事す。嘉祐十七年の進士。編修を授けらる。性行不羈なるを以て御史に劾せらる。帝問はば、宮保尙書に累進す。世以て罪數とす。嘉祐四十四年疾篤く致仕し歸り道に卒す。年五十八。少師を贈り文獻と諡す。

エンツシウ 袁聿修 (南北)字は叔。尙書郎たるふと十年、未だ嘗て升酒の遺を受けず。邢邵、常に呼んで清那となす。後、太僕少卿となり、出使巡省す。邢邵、白細を送りて信となす。受けず。邵曰く、今日復に清那を作すと。叔雖嘗て李僧伽に候す。先づ僕従を減して然る後門に入る。曰く、此實命を見る、吾對して軒冕するを羞づと。

エンエキ 袁易 (元)字は通甫。長州の人。季姿秀朗。仕進を求めず、吳興に隱居す。堂を築き靜養と曰ふ。書を聚ること萬卷、手自ら校定す。靜香堂詩集四卷を著す。

エヤク 懸約 (南北)高僧。字は德素。姓は袁氏。東陽烏復人。十七歳、出家し、律を南林寺懸淨に承く。齊竟陵王、約の道譽を聞き、深く崇敬を加へ、以て禪門の領袖となす。中書郎汝南周顒、草堂寺を建て請して之に居らしむ。天監四年、帝、別號を智者と賜ふ。沙門の別號是に始まる。十八年、帝、約を請して菩薩戒を受く。又皇儲以下王姫道俗士庶に至るまで皆度脱せんことを希ふ。大同元年八月十六日寂す。春秋八十四歳。

エラン 懸隆 (南北)高僧。姓は成。酒泉の人。曾て西域に遊び、佛鉢を頂戴す。宋文、請して鐘山の定林寺に居らしむ。孝武、中興寺を起して移り住せしむ。宋大明中、春秋六十餘にして卒す。

エリウ 懸隆 (南北)高僧。姓は成。陽平の人。太始中、都に出て、何國寺に止まる。宋明帝、湘宮に請して戒壇を開講せしむ。鉄を貢ひ道を問ふもの八百餘人。其後王侯貴族屢々請して講說せしむ。永明八年、春秋六十二にして卒す。

エリン 懸琳 (南北)高僧。朱姓。劉、秦郡の人。道淵の弟子。諸經及び壯老に善し。製作に長し、集十卷あり。

エリヤウ 懸亮 (南北)高僧。姓は姜。初め顯亮と名く。寺を臨淄に立て法華大小品十地等を講す。後江を過きて何國寺に住す。顯延、懸緒、懸を譽して留連す。元和中、春秋六十三にして卒す。玄通論を著す。

エレン 懷遠 (宋)高僧。陳氏。漳州龍溪の人。勸潭潭に嗣く。雲門の第五世。明州育王山に住す。號を大覺と賜ふ。春秋八十二にして示寂す。

エラン 懸遠 (晉)高僧。本姓賈氏。雁門襄煩の人。年二十一、道安に就きて難染し廿四歳、假ち懸遠に就く。姚秦建元九年、南荆州に遷きて上明寺に住し、後江西に至り、廬山龍泉寺に居り。刺史桓伊、遠の爲めに東林寺を山東に創りて居らしむ。時に天下の奇才多く隱居して仕へず、遠の道譽を聞き、來り從ふ者、凡そ二百二十餘人、共に同じく禪業を修す。遠、居を廬山にトし虎溪を過ぎざること三十餘年。其間傳譯著作し、廣く大教を布く。慧外關中の經論多く此地に集り、集る所以のものは遠の力なり。義熙十二年八月六日寂す。壽八十有三。門下數千人。名跡尤も著るもの十八人。唐宣宗、懷覺大師と諡し、正元三年、正覺と追諡し、太平興國三年、又圓悟大師と追諡す。嘗て錫を廬山東林寺に杖し、劉遺民、雷次宗、竺道生、宗炳等十八人と白蓮社を結ぶ。惟淵明至れば則ち飲酒を許す。謝靈運入社を求む。心緒なるを以て許さず。

エラン 懸遠 (南北)高僧。李氏。燉煌の人。十三歳にして出家し、僧思禪師、及び湛暉二律師等に歷侍し博く三藏に涉り、深く玄妙に通す。承光二年、周武帝、詔を下して佛教を廢す。遠慨然として抗詔す。帝聽かず。遂に汲郡に潜む。開皇初年、洛陽僧統となる。後勅を蒙りて興善に住す。帝又淨影寺を創り、遠に勅して之に居らしむ。十二年、勅して翻譯を知らしむ。茲年所住に寂す。世壽七十。著す所、大乘義章、涅槃疏、華嚴疏、十地疏、地持疏等凡て五十餘卷あり。

エラン 懸遠 (宋)高僧。姓は彭氏。眉山の人。圓悟に嗣く。教して靈隱に住す。佛傳の號を賜ふ。淳熙三年正月十五日寂す。年七十四。照錄三卷あり。

ヲウウンヘウ 翁運標 (清)字は晉公。號は楚野。浙江餘姚の人。父、瀛、粵西に官して卒す。運標、兄と共に遍く湖南萬山中に走り、臂を刺し血を以て疏を作りて神に禱る。兩歳を更ふれども過ふ所なし。乃ち其船に傍して曰く、餘姚の某父を尋め。衡永の間を溯廻して竟に父の死所を得、扶柩して歸る。人競ひ稱して翁氏の兩孝子と爲す。運標、雍正元年の進士に擧げられ、桐柏武陵縣を歴知し知州に遷る。其の官に在るや務て徳を以て民を化す。凡そ地を争



ひ産を争ふ者皆相推譲す。又嘗て塔を築き塔を修め書院を創建す。人其境を稱して翁公境といひ塔を翁公塔といひ書院を翁公書院と曰ふ。歳大旱。運糧、烈日中に跪きて雨を求むる凡七日。

ヲウエイ 翁廉 (清)運糧の父。

ヲウエイ 翁易 (宋)字は麟翁。崇安の人。六經に通じ尤も春秋に長ず。朱文公の門に遊びて理義を講明し、往復難難悉く其旨を極む。言行法あり。人之を竹林先生と稱す。

ヲウエンケイ 翁延慶 (宋)字は德甫。崇安の人。父の蔭を以て官に補せらる。靖康の初、聊城縣義兵を率ぐ。王若蘭等に従て王に勤む。京師南薰門に至り金人と血戦して之に死す。朝散大夫の官を贈る。其子世修。孫允明、淳熙五年の進士に登る。

ヲウオウヒツ 翁輝福 (宋)字は子眞。壽昌の人。博く群書に渉る。淳祐の進士。工部侍郎に累官す。理宗深く之を器とす。後、丁大全の陥る、所と爲り南荒に謫置せらる。之を久しうして帝其才を思ひ使を遣して之を召せば則ち已に死す。補聞す。帝嘆悼良久しうし有司に命じて其柩を歸し其官を復す。

ヲウカウ 翁行 (宋)字は元廣。少にして俊聲を負ひ江西詩派に與す。自ら逃禪子と號す。

ヲウキヨグウ 翁巨隅 (唐)承贊の父。ヲウケン 翁君 (漢)穀梁春秋の學を傳ふ。ヲウゲン 翁元 (宋)字は柔仲。福清の人。性豪俠、嘗て前輩の行事を説くを喜ぶ。亦詩を能す。邱園に在ると十五年、城市の人其面を見るある者鮮し。父績、宣和の頃剛直を以て稱せらる。

ヲウコク 翁谷 (宋)字は子諱。政和二年進士に第し崇安に權す。廉介にして幹濟の才あり。宣和の初、新豐園境に迫る。谷、郷兵を圍練し分水嶺峯嶺竹嶺に於て二大寨を置き之を控扼す。寇敢て犯さず。善治を以て聲あり。

ヲウシヨウウ 翁承贊 (唐)字は文興。莆田の人。乾寧間、進士に登る。天祐の初、左拾遺と爲り、後に相に拜せらる。父巨隅、榮陽軍たり。

ヲウシヨウヨウ 翁處恭 (宋)兄弟弟朝を同じうす。時に六桂芳を開くと號す。

ヲウスウチン 翁善年 (清)字は廣貽。饒塘の人。康熙二十七年の進士。官、廣東學道たり。書を善くす。

ヲウセイシ 翁世實 (明)莆田人。正統七年の進士。戸部主事に除す。天順中、工部右侍郎に拜す。成化の時、戸部尚書に累遷す。十九年致仕す。

ヲウセイシウ 翁世修 (宋)延慶の子。ヲウセイシユン 翁正春 (明)字は亮實。侯官の人。萬曆二十年の進士。修撰より少詹事に擢てらる。禮部左侍郎に遷る。嘗て八旗を賦す。曰く、君心を清す、亂制に違ふ、國紀を振ふ、臣傑を信ず、賢才を賞とす、財用を節む、民命を恤む、邊防を重んずと。書せられず。天啓二年致仕して卒す。崇禎の初め文節と號す。

ヲウセウ 翁邵 (宋)字は好德。元豊中の進士。順昌の人。博學工詞。崇安に開せらる。時に劉翥、翁ほ有交なり。翥も邵、皆つに國士を以てす。人其の人を知るに服す。劉翥、清慎方正、大に學校を興す。已にして疾を以て歸る。歙州の士、

ヲウセウ 翁照 (清)字は期天。江陰の人。國子生。康熙の朝詩を以て鳴る。著、賜香室詩文鈔あり。

ヲウセキ 翁毅 (宋)字は德功。博學能文、隱居の學を務む。士の策を以て從游する者百を以て數ふ。之を降へて倦まず、率れ多くは成就す。

ヲウセキ 翁毅 (宋)元の父。ヲウタイリフ 翁大立 (明)餘姚の人。嘉靖十七年の進士。累官して山東布政使たり。慶慶中、民の困窮に督整して愁困するの狀十二を繪き、且時務を陳す。萬曆に至り南京兵部尚書に擢てらる。六年致仕して歸る。

ヲウチウツウ 翁仲通 (宋)字は濟可。崇安の人。始め武平令。食肉興化軍と爲り復た黃巖縣に知たり。至る所敵湖を興築す。民甚だ之に頼る。武平の俗、學を知らず。仲通自ら民地を以て買ひ學を建て、以て之を教ふ。後、親殺して殺ふに達せざるを以て遂に致仕す。子彦約、彦深、彦國。

ヲウテウ 翁桃 (唐)字は子平。壽昌の人。進士に擧げられ主客員外郎を授けらる。退居仕へず。傳宗之を徵す。桃、枯木の詩を作り以て詔に答ふ。帝嘉慕じまず、復た使を遣し曲江の魚を賜ふ。宋の理宗、追諡して善慶公と爲す。

ヲウテン 翁點 (宋)字は沂伯。莆田の人。進士の弟に登り湖南運判に歴官し盡興して本道の酒榷を弛む。湘人之を德とす。江東提刑と爲り亦治蹟あり。郡人碑を建て、其遺澤を頌す。

ヲウハウカウ 翁方綱 (清)字は正三。號は東溪。順天大興の人。年十二、府の學生に補し、十五、鄉薦に登り、二十、進士となる。乾隆十七年壬申、官鴻臚寺卿に至る。卒する年八十有六。平生精心古を汲み、宏覽多聞、金石詩錄書畫同筆の學に於て皆就ち摘抉精審す。著、兩溪金石記あり。ヲウハク 翁伯 (漢)昭を賦いで高、縣邑を傾く。

ヲウパンダツ 翁萬遠 (明)字は仁夫。揚陽の人。嘉靖五年の進士。戸部主事を授けられ再遷して郎中たり。出て梧州知府たり、聲績大に著はる。尋で安南を討じて功最たり。大將軍仇鸞に阻せられて罷む。鸞斥けられて復た起つ。未だ命を聞かずして卒す。



年五十五。慶應中、嘉穀と諱す。性至孝、躬ら土を負ひて成す。好んで性命の學を誦す。

ラウホ 翁甫 (宋)字は景山。熈寧の人。進士の第に登る。陸對官に稱ひ、資善堂直學に除せられ、皇儲の宮中に入り左右の玩器を獻するを禁絶すべきを言ふ。奏入て報ぜず。知隆興州を兼り。著す所、蜀漢書あり。

ラウボウトク 翁夢得 (宋)字は景說。詩人翁洙の孫也。春秋に通ず。端平咸淳間、兩榜に中れども尋いで隱居教授す。著す所、春秋指南一卷、讀史二卷、要論十卷、紀要十卷、盤珠論十卷、地理總括若干卷あり。並に世に行はる。

ラウモウシ 翁兼之 (宋)字は子功。崇安の人。彦國の子なり。父の陸を以て常山尉に補せらる。時に趙鼎死し、樞密山を過ぐ。郡將、兼之の旨を希ひ兼之に命じて表を讀り其の知舊往來の書疏を讀ましむ。兼之、密に之を焚かしむ。郡將、坐するに他罪を以てして官を罷む。孝宗登極、召して司農丞と爲す。

ラウレイジヨ 翁麗舒 (宋)詩名あり。劉后村等と交る。

ラウキ 翁偉 (宋)義漢守と爲る。馬に跨りて出で晴馬の嘶くを聞きて能く其音を辨す。

ラウキントウ 翁賢登 (清)字は雲窓。羅山の弟子。

ラウキンメイ 翁允明 (宋)延慶の孫。ラウカイトク 翁介特勅 (唐)回紇主。回紇特勅殺されて可汗牙部十三姓烏介を奉じて可汗と爲す。此時回紇分裂して多く唐に降る。烏介亦其下に殺さる。

ラウコウシ 翁康子 (周)晋の賢人なり。彭職の法を著す。

ラウケイコウシチクテイゼンウ 烏精俊戸逐尾取子 (漢)南朝叔主。名は據。禮の弟。立て四年にして死す。

ラウケイハウ 郎桂芳 (清)官總兵に至る。同治二年九洲州を攻めて陣亡す。

ラウコソウタク 烏古孫澤 (元)字は潤甫。臨濟の人。才幹人に過ぐ。數々宋兵と戦ひ大捷を得。至元間、興化路に知たり。政績あり。吏民其威徳に服す。母の老病を以て歸養を求む。歳餘母歿す。其喪を以て卒す。正憲と追諡す。

ラウコン 郎昆 (明)石浮山人と號す。畫に工にして山水人物宋元の遺意を失はず。ラウシユリウジヤクテイゼンウ 烏珠留若樞單于 (漢)匈奴の主。車牙若樞單于の弟。名義知牙斯。元壽二年漢に朝す。王莽漢を篡ふに及び匈奴を遇するの例を改む。單于大に怒て曰く先單于漢の宣帝の恩を受く。今の天子は宣帝の子孫に非ず何の恩を以て立つを得んと。復兵を起して漢に寇す。王莽大に十二部の將帥を拜し郡國の勇士、武庫の精兵を發し十道並び出で、單于を丁令に窮追す因て其地を分けて呼韓邪の十五子を立

。是に於て漢と匈奴と和親又被れ北邊虛空と爲り野に暴骨あり。烏珠留單于立て二十一年漢の建國五年に死す。

ラセキゼンウ 烏籍單于 (漢)匈奴の主。且鞮單于の孫。初め烏籍都尉たり後に自立す。屠耆單于に敗ぶられて西北に走り車犁呼揭と兵を合せ呼揭と共に單于を去り車犁車犁單于を扶く。

ラダイキン 郎大附 (宋)河原の人。政和二年の進士。廣州の東道濱海舟楫往來し恒に颶波を患ふ。大附因て颶波を規度し之を開闢す。東は東洲に起り西は黃水灣に接す。延袤十余里、人之を便とす。

ラタン 郎單 (周)孔子の弟子。

ラテイコウ 烏程公 (三國)吳主第四世。姓は孫、名は皓、字は元宗。和の子にして大帝の孫なり。立て二十一年晉主澄舟師を率めて石頭に至る。吳主遂に降る。改元するも八、元興、甘露、寶鼎、建衡、鳳凰、天冊、天璽、天紀。

ラトウ 郎彤 (晉)京書に工なり。寒林樓獨の如し。

ラソカク 温革 (宋)石城の人。寶元中、上書して家貨を納れ盡く國子監の書を市はんと願ふ。請ひ歸るを得て講堂を創め義學を開く。遠近の士多く就く。郡俗を教育し其善化を陶す。

ラシヤウ 温璋 (唐)京兆尹となる。鈴を股けて以て冤訴者を通す。一日鈴を挽く聲を聞く。之を視れば鶴なり。璋曰く、是感ず人の子を採るを訴ふるならんと。吏をして之を視しむれば、果して子を採る者を得。累官して政績あり。紫金を賜ふ。

ラシヤクシユン 温若春 (宋)番禺の人。嘉定中對策す。姓名第一たり。校書郎を歴。崔興之と遊ぶ。素より其學行を重んず。諸人を朝に薦、奏して曰く、若春は清要の任に宜しと。秘書を授けらる。

ラシユン 温純 (明)字は景文。三原の人。嘉靖四十四年の進士。知縣より科給事中を歴。穆宗神宗に歴事して左都御史に累遷す。致仕して卒す。少保を贈る。天啓の初、恭毅と諡す。

ラシヨ 温序 (漢)太原の人。建武中徵されて侍御史となる。護羌校尉に遷る。部を行きて襄武に至る。隗囂が將の爲めに拘へらる。却し諭して己に従はしむ。序曰く、分當に死を效すべし、義生を貪らんと。遂に口を以て鬚を含み劍に伏して死す。

ラシヨクワツ 温汝适 (清)黃坡と號す。順徳の人。乾隆四十九の進士。兵部

三原の人。康熙五十一年の進士。書を善くす。樂を王少司農(原那)に受け、隨んで其法を守る。用筆沈實、紳々として師風あり、而かも冲澗駘宕の妙、尙ほ未だ及ばざる也。

ラシクワイ 温恢 (三國)字は曼基。郡の人。年十五、家財に足る。曰く、世方に亂る、安んぞ富を以て爲さんやと。一朝盡く散じて宗族に賑施す。州旅之を高しとす。涼州刺史に累官す。

ラシクワウ 温黃 (明)初名は以介。字は千石。烏程の人。崇禎十六年の進士。推官に除せらる。此時京師既に陷。黃民兵を率ひ恢復を圖る。力足らず自刺して死す。

ラシケイツウ 温繼宗 (明)沁州の諸生。父卒して葬る能はず。柩を守りて哀泣す。嘉靖二十一年、寇犯す。父の殯を以て背て去らず。一矢に中り、柩の旁に死す。二十二年旌せらる。

ラシケウ 温燭 (晋)字は太真。父燭、河東太守たり。燭、博學にして文を能くす。李儼を擊つ。劉琨が右司馬となり、表を江東に奉ず。元帝之を器とす。王導等並に典に親善なり。後、討虜待郎に除せられ、開封鎮同三司に累遷す。王敦、石頭に在り、明帝を廢するの意あらんと欲す。帝、賓客座に盈つ。敦、其の聰明なるを知り、詭ふるに帝の不孝なるを以てして之を廢せんと欲す。帝の不孝の狀を言ふこと、皆太真の説く所なりと云ふ。須臾にして温至る。敦便ち其威容を奮ひ、温に問ひて曰く、皇太

子の人となり如何。温曰く、小人以て君子を測るなし。敦は色色に厲しく、威力を以て己に従はしめんと欲す。乃ち重ねて温に問ひて曰く、太子何を以て佳と稱するや。温曰く、深きを釣し遠きを致す、蓋し識の測る所にあらず、然れども禮を以て親に侍す、孝と稱すべしと。敦愧ちて之を銜む。温、陶侃と共に兵を起して蘇峻を討ち、水陸並び進じ、蘇峻を白石に斬る。官、驃騎大將軍に至り、始安公と封せらる。年四十二にして卒す。忠武と諡す。子放之、式之、俱に貴顯なり。

ラシケン 温憲 (宋)咸通中及第す。張裔等と十哲となす。

ラシサウ 温造 (唐)字は簡興。大雅五世の孫。父倍。安祿山の亂、往きて平原太守顔真卿を見、助けて守計をなす。造、奏表懇懇、性詩書を嗜み、東郡の王、山、隱れ、慨然高世の心あり。河陽節度使烏重胤、禮を以て聘して幕下に致す。後殿中侍御史に遷る。抗疏して夏州節度使李祐の詔に違ひ馬を通むるを勅す。祐曰く、吾雲衣蔡州に入り吳元濟を擒す、未だ嘗て心を動かさず、今、卿、温御史に落つと。

ラシシヨウ 温子昇 (南北)字は蘭舉。博く百家を學び、文章清婉なり。常景曰く、温生は是れ大才士なりと。孝莊以て主客郎中となす。濟陰王暉業嘗て云く、江左の文人宋に顔延之謝靈運あり梁に沈約任昉あり、我が子昇は以て顔、凌ぎ謝を綜へ任を



右侍郎に累官す。其時、國氣和平、其人品に育たり。著、詩文集の集あり。

ランセウゲン 温紹原 (清)字は北平。湖北江夏の人。知六合縣事たり。長慶の亂、各地に轉戦して功あり。咸亨八年九月十八日、六合に陥り、水に投じて死す。壯勇と稱す。嘗て遠征の時を賦して云ふ、不將白髮隨明鏡、惟有丹心戀聖朝。

ランセウヤク 温運約 (唐)字は從禮。李唐の世臣たり。其賊の亂に、運約、長沙に聚り、義旗を糾して來往擄奪す、卒に以て民を靖んす。崇陽に尹たること十三載。功を著す。司空鄂州制置使に累官し、兼れて鄂州に知たり。

ランタイイウ 温大有 (唐)字は彦博。大雅の弟。背に通じ、警愼にして辨あり、辭令を善くす。四方の風俗勸布勸命を訪ふ毎に、威く罰するが如く然り。進止雍容、人皆目を拭うて之を觀る。

ランタイリン 温大臨 (唐)字は彦博。大雅の弟。背に通じ、警愼にして辨あり、辭令を善くす。四方の風俗勸布勸命を訪ふ毎に、威く罰するが如く然り。進止雍容、人皆目を拭うて之を觀る。

ランタウ 温紹 (五代)京兆華原の人。少して進みならず。後李茂貞に事へ姓名を李

憲輔と改む。既にして樂に降り又茂貞に復し、再び樂に降る。唐明宗の時、嘗て賚駿を發くの罪を以て德州に流し、死を賜ふ。

ランチウジヨ 温仲舒 (宋)字は東陽。河南の人。進士に登り、官州直史館に遷り、編修直學士に拜せられ、同知樞密院事に累遷す。後、河南府に知たり。才、務に應ずるに堪へたり。寇準と同じく進む、人温冠と稱す。

ランテイカウ 温廷皓 (唐)咸通中、徐州幕府に署せらる。應助反するに値ふ。及んで之を脅し表を作らしむ。罵りて曰く、我豈筆墨を以て汝に事へんや、速に我を殺せと。助笑ひて曰く、儒生膽あり耶と。

ランテイケン 温庭筠 (唐)彦博の裔孫。少にして敏悟、工みに詞章を爲る。李商隱と名を齊しうし、温李と號す。大中の末、方山尉を授けらる。

ランテキカナンニジフ 温進學二十 (金)温進學進の子。興定元年武勝州節度使に遷

り、吏部尚書知開封府に改む。事に坐し降されて鄭州防禦使となり卒す。

ランテキカンホト 温進學藩階 (金)徽入の反するや、藩階放て降らず、賊執へて賣して之を殺す。一族皆害に遇ふ。

ランテキカンホリトク 温進學藩里特 (金)隆州の人。魁梧異姿にして謀畧あり、智勇を以て聞ゆ。藩官を歴て大定三年卒す。

ランテツ 温訥 (晉)吳人。楊行密の將劉威の幕客たり。行密、威の帥府の爲めに忌まるゝに率ひて、徐温に屬む。温將に之を害せんとす。訥、威に説きて曰く、公、勝を受くること深しといへども、本に反せば

蘭斜單子の子。漢の元封六年死す。

補遺

エンクワイ 燕噲 (周)王噲を見よ。

ゲイクワン 見寛 (漢)千乘の人。尙書を治む。家貧にして質作し、經を帯びて勤く。武帝に事へ、累官して御史大夫に至る。(見、音覽)

コウゲイ 后羿 (夏)有窮の後。其姓を詳にせず。多力善く射る。夏の太康、盤遊して反らず、民之を苦む。羿乃ち之を拒んで國に納れず、其弟仲康を立つ。仲康崩じて子相を立つ。既にして羿又た相を逐ひ、自立して帝と爲る。世射を恃んで人事を修めず。伯明氏の鶴子寒泥を信用す。寒泥、羿を試し、之を烹く其子に食はしむ。其子食ふに忍びず、窮門に殺さる。羿の在位年數詳ならず。

ゴウン 伍員 (周)奢の子。字は子胥。奢及び兄尙楚に戮せらる。遂に吳に奔り吳を佐けて楚を伐つ。既にして郢に入り、遂に平王の尸を出して之を鞭つ。申包胥曰く、子の仇に報ゆること甚しからずやと。子胥曰く、吾日暮れて途窮まる、故に倒行して逆施す。後吳王夫差を諫む。從はれず。太宰嚭因て之を諷す。王乃ち子胥に屬劍の劍を賜ひ、盛るに鳴夷の革を以て之を江中へ浮ぶ。吳人之を憐み爲に祠を江上に立て、胥山といふ。

エンクワ

サイセイ

を知る。邑、夜、絃を絶つ。之を問へば曰く、第一絃と。故らにまた一絃を絶つ。之を問へば曰く、第四絃と。邑之に戯れて曰く、偶中せるのみと。瑛曰く、昔季札風を觀て四國の興衰を知り、師曠律を吹きて南風の號はざるを知る、此れに由りて之を觀れば何ぞ知らざるを得む乎と。箕するに及んで文姬を字し、猶仲道に適く。胡騎に獲られ胡に在る。二子を生む。曹操、邑と素有り。金甌を以て之を贈ふ。歸るに及び故夫及び二子に辭して胡笳十八拍を作し、再び屯田都尉重祀に嫁す。記法を犯し當に刑せらるべし。文姬遂に徒行し操に詣り罪を請ふ。文詞清辨、記免るゝ獲たり。操問ふ、汝が家書多し、能く之を識れりや否や。曰く、亡父書を賜ふと四千餘卷、存する者あることなじ、今誦する所憶ふに才かに四百餘篇、乞ふ紙筆を給せし、眞自唯命のまゝならむと。是に於て操驚送呈し、文に遺語無し。

ソウコウ

テイカタンカフ 帝河夏甲 (殷)殷第十二世。子姓。帝太戊の子。兄外壬に嗣ぐ。在



位九年。テイナンカウ 帝南庚 (殷) 股第十七世。子姓。帝沃甲の子。帝祖丁に嗣ぐ。在位二十五年。

テイバウ 帝芒 (夏) 夏后氏第九世。姁姓。帝槐の子。在位十八年。テイハウ 帝發 (夏) 夏后氏第十六世。姁姓。帝皐の子。在位十一年。

テイブイツ 帝武乙 (殷) 股第二十七世。子姓。帝庚丁の子。無道なり。偶人を爲りて之を天神といひ之と博す。人をして爲に行はしむ。天神降たされば乃ち之を殺す。革鬚を爲りて血を盛り仰て之を射る。命けて天を射るといふ。武乙河渭の間に獵す。暴に雷なり武乙震死す。在位四年。

テイフコウ 帝不降 (夏) 夏后氏第十一世。姁姓。帝泄の子。在位五十九年。テイブテイ 帝武丁 (殷) 股第二十二世。子姓。帝小乙の子。時に殷衰ふ。武丁之を興さんと欲して未だ其佐を得ず。三年首はず、政事凡て家宰に決定す。以て國風を觀る。武丁夜夢に貞婦を得、名を説といふ。人をして之を求めしむ。是時神膏鬚と爲り傳展に樂く。武丁與に歸り大に悦び擧げて相と爲す。殷の國大に治まる。之を高宗と爲す。在位五十九年。

テイヤウカフ 帝陽甲 (殷) 股第十八世。子姓。帝祖丁の子。帝南庚に嗣ぐ。陽甲の昨殷衰ふ。在位七年。テイヨウキ 帝雍己 (殷) 股第八世。子姓。

帝太庚の子。兄小甲に嗣ぐ。在位十二年。テイヨクカフ 帝沃甲 (殷) 第十五世。子姓。帝祖乙の子。兄祖辛に嗣ぐ。在位二十五年。テイヨクテイ 帝沃丁 (殷) 第五世。子姓。帝太甲の子。在位二十九年。テイリキ 帝履癸 (夏) 夏后氏第十七世。姁姓。帝發の子。號して桀と爲す。貪虐なり。力能く鉤を伸べ鐵を索す。其力を恃み徳を務めずして百姓を武傷す。末喜を寵して傾宮瑤臺を爲り肉山脯林、酒池には以て舟を運らすべく糟堤には以て十里を望むべし。一鼓して牛飲する者三千人。國人大に崩れ諸侯皆時て湯に歸す。湯夏を伐つ。桀鳴條に走りて死す。桀在位五十二年。夏后氏凡そ十七世四百五十八年にして亡ぶ。

テイリンシン 帝履辛 (殷) 第二十五世。子姓。帝甲の子。在位六年。テウトン 趙盾 (周) 字は孟。宣子と諡す。襄の子。父に代て卿と爲る。嘗て驪駘を擧げて中軍尉と爲す。買季曰く、趙衰は冬日の日なり。道盾は夏日の日なりと。晉靈公不君にして、臺上より人を墮す。膳夫、熊膳を煮て熱せず。之を殺す。盾屢々公を諫め、公曰く、吾れ過つ所を知ると。盾拜して曰く、人誰れか過なからむ、過て能く改むれば善の大なる者なりと。公之れを憂へ、鉏麇をして之れを賊せしむ。果たさず。盾を召し酒を飲ましめ、甲兵を伏せ之を攻む。車右祁、明之を知り、扶けて門を出つ。甲

平定州刺史、兵部郎中、翰林直學士、禮部尙書等に遷り天興元年卒す。年七十四。至誠樂易自ら奉養する寒士の如し。書及び畫を善くす。楷書は鍾王の秘を得、梅花竹を畫く筆力著効なり。

テウヘイラン 趙秉温 (元) 環の子。世祖に潜邸に奉ふ。至元間、朝儀を創す。使を奉り天下の秘書を購求す。昭文館大學士に遷る。數々受けて國朝集禮書を編す。雲國公に封せらる。卒して文昭と諡す。

テウホシ 晁補之 (宋) 字は無咎。濟北の人。宗慤の曾孫。端彦の子。元祐間の人なり。才氣飄逸、學を嗜みて倦まず。また畫を善くす。年十五、詞賦を以て蘇軾に謁す。軾之を歎賞す。進士に擧げられ禮部郎中を以て泗州に知たり。後、罷めて歸る。其の揚州に在る時、蘇東坡と唱和す。東坡嘗て其の風流別駕たるを稱す。著はす所、鶴助集万あり。世に行はる。

テウマウカン 趙孟頫 (宋) 黃岩の人。宋の宗室。嘗て慶陵に入り、歐陽脩、劉辰翁の門に遊ぶ。文天祥、浙西關を開き、從事を以て之を辟す。併に行く五十日にして大那已に去る。孟頫遂に隠れて道士と爲る。又僧と爲り、因て自ら號して三教遺逸と爲す。子孫遂に華亭に家す。著はす所、河山汗漫集あり。

テウマウテウ 趙孟頫 (元) 字は子昂。宋亡びて湖州に家居す。至元二十三年、臨して遺逸を江南に搜索するに及び、遂に北す。

興る。公の介靈、戈を削にして之を繫ぐ、走りて免かる。宣子亡げて未だ境を出てず。趙穿、公を桃園に弑すと聞き乃ち反る。太史書して曰く、趙盾其君を弑すと。宣子曰く、穿なり。曰く、子正卿と爲り亡げて境を出てず、歸て賊を討せず、子に非ずして誰ぞと。盾の子朔。

テウハウ 趙汭 (明) 字は子常。休寧の人。心を春秋に究む。研精彈思二十年、春秋集傳十五卷、左氏補註十卷、師說三卷を作る。晚年東山に屏居す。學者、東山先生と稱す。太祖詔して元史を修む。汭を徵して其事に預らしむ。書成りて辭して返る。年五十一にして卒す。

テウハウ 刁包 (清) 字は蒙吉。晩に用六居士と號す。直隸邢州の人。明天啓七年の舉人。古文を以て鳴る。學者稱を宗さす。執經のた、門に滿つ。清に入り、日に四子五經及び宋元諸儒の書を取りて反覆尋究し、二十年を積みて倦まず。程朱を以て宗旨と爲す。卒する年六十七。

テウヒエン 趙飛燕 (漢) 趙皇后を見よ。テウヒツレン 趙連 (宋) 字は仲連。崇安の人。少くして刻苦書を讀む。開慶間、父の滯を以て官に補す。辭して受けず。晩に室を黃柏里に築き、自ら山泉翁と號す。梅數株を植ふ、其居を名づけて梅花莊と云ふ。弟若微と日に其中に鶻詠す。尤も辭に精はし。倚梅吟稿あり。

テウフ 趙普 (宋) 字は則平。薊州の人。

父迥、洛陽に徙る。普沈厚寡言。太祖に事へ切め書詔と爲る。能く天下の事を以て己の任と爲す。太宗立て太師に拜す。兩朝に歴相して、未だ嘗て子弟の爲めに恩澤を求めず。太宗稱して曰く、普能く大事を斷し忠を國家に盡くす武に社稷の臣なりと。卒するに及び韓王に追封し忠獻と諡す。普初め學術寡し、太祖勸めて以て書を讀ましむ。是より手、卷を釋かず。私第に歸る毎に、篋を啓き四書を取て之れを讀む。乃ち論語二十篇なり。曾て曰く我、論語上半篇を以て太祖を輔けて天下を安んずと。弟安易、官太宗を輔けて天下を安んずと。弟安易、官宗正卿に至る。子承宗、數州を歴知す。

テウブ 趙武 (周) 盾の孫。晉の悼公を相けて功あり。卒して文と諡す。

テウフク 趙復 (元) 字は仁甫。宋末元初の人。北方に程朱の學あるは蓋し復より始る。學者之を江漢先生と云ふ。

テウブンテツ 趙文質 (清) 字は損之。瓊陽と號す。上海の人。乾隆壬子、上南巡詩か進め申書主事を授けらる。大小金川を征するに隨ひ難に殉す。葬祭を賜ひ昭忠祠に入祀す。文哲文に於て工ならざるはなく、尤も詩詞を以て天下に名あり。著に翰雅堂等の集あり。

テウヘイブン 趙秉文 (金) 字は周臣。開々として號す。磁州滏陽人。幼にして穎悟。大定二十五年登第。應奉翰林文字同知制誥、北河路運司度支判官、戶部主事、翰林修撰、

平定州刺史、兵部郎中、翰林直學士、禮部尙書等に遷り天興元年卒す。年七十四。至誠樂易自ら奉養する寒士の如し。書及び畫を善くす。楷書は鍾王の秘を得、梅花竹を畫く筆力著効なり。

テウヘイラン 趙秉温 (元) 環の子。世祖に潜邸に奉ふ。至元間、朝儀を創す。使を奉り天下の秘書を購求す。昭文館大學士に遷る。數々受けて國朝集禮書を編す。雲國公に封せらる。卒して文昭と諡す。

テウホシ 晁補之 (宋) 字は無咎。濟北の人。宗慤の曾孫。端彦の子。元祐間の人なり。才氣飄逸、學を嗜みて倦まず。また畫を善くす。年十五、詞賦を以て蘇軾に謁す。軾之を歎賞す。進士に擧げられ禮部郎中を以て泗州に知たり。後、罷めて歸る。其の揚州に在る時、蘇東坡と唱和す。東坡嘗て其の風流別駕たるを稱す。著はす所、鶴助集万あり。世に行はる。

テウマウカン 趙孟頫 (宋) 黃岩の人。宋の宗室。嘗て慶陵に入り、歐陽脩、劉辰翁の門に遊ぶ。文天祥、浙西關を開き、從事を以て之を辟す。併に行く五十日にして大那已に去る。孟頫遂に隠れて道士と爲る。又僧と爲り、因て自ら號して三教遺逸と爲す。子孫遂に華亭に家す。著はす所、河山汗漫集あり。

テウマウテウ 趙孟頫 (元) 字は子昂。宋亡びて湖州に家居す。至元二十三年、臨して遺逸を江南に搜索するに及び、遂に北す。

テウヤク 刁約 (宋) 字は景純。康定中、歐公と同じく館閣に在りて禮書を修む。後、直史館たり。浩然として山林の志あり。冠を掛けて歸り、室を潤州に築きて自ら春塢と號し、日に其中に遊息す。東坡題して云ふ、年抛造化甄陶外、春在先生杖履中と。

テウヨク 趙翼 (清) 字は耘松。甌北と號す。江蘇漢陽の人。年十二にして文を爲るを學ぶ。日に七藝を成す。人皆之を奇とす。乾隆二十六年の進士。編修官を授けられ貴西道に至る。崑崙の政聲あり。緬甸を征し、蘇州を平らぐ、翼が謀畫の力多に居り。後ち家居すること數十年、手に卷を釋てず。又天下名山大川を徧遊す。其詩を爲る、悲歌慷慨蒼々莽々たり。袁簡齋、蔣心餘と名を齊す。

テウリヤウトウ 趙以棟 (清) 字は肇宇。一字は西華。甘肅寧夏の人。少して個儻、策に仗り戎に従ふ。順治二年、征に隨ひ關に入る。復た屢戰功を立つ。官將軍に至り三等子を授けらる。結髮戎に従ひ五十餘年、大小數百戰、未だ嘗て敗戦せず。糧を糞み險を涉り七千餘里。古大臣の風烈あり。卒する年七十有七、一等伯に晉ひ襄忠と諡す。テウリヤウヒツ 趙良弼 (元) 字は輔之。







建	喬	瓊	景	珪	嘉	珪	歡	環	煥	煥	觀	廣	安	煥	因	科	化	喻	香	縉	回	晦	洽	華	詡	炬	俟	訓	寓							
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二					
佐	濟	藻	爽	衣	渾	琨	長	國	虎	故	弘	鴻	構	彥	阮	源	原	玄	儉	乾	憲	建	顯	權	謙	喬	嶠	教	結							
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二					
陶	象	祥	信	紳	鎮	琮	琮	琮	琮	琮	琮	琮	琮	琮	琮	琮	琮	琮	琮	琮	琮	琮	琮	琮	琮	琮	琮	琮	琮	琮	琮					
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二				
備	準	腹	峻	俊	春	恂	珣	述	駿	凌	凌	凌	凌	凌	凌	凌	凌	凌	凌	凌	凌	凌	凌	凌	凌	凌	凌	凌	凌	凌	凌	凌				
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二			
萬	泉	宜	攝	椿	善	詔	權	籍	錫	翦	劭	邵	政	成	晟	青	遂	遂	隨	蠲	式	軾	舒	如	承	論	松	稱								
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二		
治	尼	仲	育	映	端	壘	湛	湛	且	棠	燕	鐸	丹	當	陶	尊	遜	泰	則	素	崇	宋	曾	琮	陸	食	瞻	銓								
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
寧	德	同	壽	恬	田	斗	都	徐	圖	土	度	登	鼎	廷	直	通	貞	鼎	鑑	暢	和	瑞	著	澄	沈	鎮	珍	楨	致							
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
符	扶	博	彬	份	寶	寶	妃	編	微	彌	罷	妃	綬	播	萬	磐	白	柏	龍	瀾	沛	襄	萌	良	彭	保	望	悅								
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

濟	圖	祁	雲	山	遐	廬	千	獻	大	毒	寶	將	吉	敏	栗	茂	文	法	法	騰	定	仲	道	成	大	深	宜	宜	慎										
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二				
鳩	娟	女	子	爾	青	小	義	史	公	簡	廉	臨	利	用	彭	同	山	計	款	新	義	安	大	陽	謙	氏	渾	冰	簡										
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二				
發	伯	太	終	章	夜	文	皮	庭	淳	置	產	昆	之	響	奇	儀	辨	子	奚	奚	奚	奚	奚	奚	奚	奚	奚	奚	奚	奚	奚	奚	奚	奚	奚				
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二			
侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯			
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二		
榮	永	蔚	鬱	懌	宇	殷	寅	隱	育	逸	祐	佑	友	衣	彝	雄	融	軌	安	晏	四	尸	俊	茂	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯			
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
果	浩	輝	綱	浩	理	凱	愷	雅	駕	介	何	假	嘉	伽	珂	說	延	沿	炎	琪	暉	偃	行	釋	瑤	悅	臻	英	瑩										
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
幾	折	祺	奇	輝	基	機	唏	瑞	起	歡	攜	貴	季	喜	洪	侃	瀚	絨	滅	鑑	聘	鸚	洽	鐸	萃	格	衡	行	效										
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
旭	玉	興	恭	珙	匡	贊	瑛	勳	訢	肌	瑾	邑	况	汲	吉	聲	儀	誼	職	義	球	丘	休	協	驥	紀	熙	毅	葵										
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同















抹明安	抹明里	抹也先	抹李迭兒	代淵	仙源	巨敬	武	覽	師古	玉英	蕭	芝	液	况	笏迷夫	李縣君	情帖木兒	丘	岳	岳	新	敬	侯	蔡
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
伯宗	汝來	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇
伯宗	汝來	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇
昭	崇	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
思	明	五	常	憲	弘	均	虛	記	可	可	可	可	可	可	可	可	可	可	可	可	可	可	可	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
司	空	野	公	治	成	之	朴	初	古	著	映	維	孟	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
馬	容	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
豐	伯	根	燕	生	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	

鳴	良	涵	時	芝	秦	世	紹	積	屠	屠	屠	屠	屠	屠	屠	屠	屠	屠	屠	屠	屠	屠	屠
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉
伯宗	汝來	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗
伯宗	汝來	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗
昭	崇	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗	皇	帝	宗
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
思	明	五	常	憲	弘	均	虛	記	可	可	可	可	可	可	可	可	可	可	可	可	可	可	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
司	空	野	公	治	成	之	朴	初	古	著	映	維	孟	天	天	天	天	天	天	天	天	天	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
馬	容	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
豐	伯	根	燕	生	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五

五中承弘光尼自正去未末立必命平在祀不牙且日用白山



射斗	士完	士行	士謙	士瑋	子著	之純	之宣	自方	國禎	國棟	國寶	吾弼	佐日	修之	修來	謙如	元璋	顧忠	孔易	洪章	公選	國相	洪範			
五	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同		
宗程	崇德	素娥	祖文	大典	壽隆	靜庵	勝非	守元	淑真	守仁	舜水	淳甫	舜庸	壽命	璜泉	震亨	仁軌	慎鍊	昌祥	昌符	錫庚	錫堪	之瑜			
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同		
文奎	文選	文德	夢炎	葆光	百年	萬年	貌孫	寶占	敏打	庭傑	定國	德潤	敦儒	梅間	賈臣	忠亮	長生	長文	澤漢	台符	道珠	桃樵	稻孫	全忠		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同		
賜	益	戎昱	門君	金居	方鄴	鄉曹	伯	里不	爾直	兒赤	象孫	龍文	齡石	鳳附	維京	蔡正	由純	興換	德女	亮祖	無瑕	孟常	孟約	夫人	文剛	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
伯璜	得臣	緝女	公綏	公英	景尚	基命	坊文	文	閱	訥	德	帝	湯	叔	軫	瑤	象	侯	公	公	玄	及	淹	銳	勇	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
延宣	疏	瞻	仰	曼	無	帝	知	皇	義	隆	理	適	挺	龍	生	勝	晨	儼	于	休	宗	吉	翊	發	祥	
一	同	三	一	同	同	二	同	同	二	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
朝棟	爾德	爾登	桑何	尹	推	慎	珍	籍	說	伊	長	梁	長	大年	子陵	氏女	山甫	容	由	井	仁	光	堪	仲	仁	謙
元	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
安賓	梁	孚	被	朝	尚	奢	參	洪	喬	舉	驥	誥	概	雲	洪	伍	祐	陵	尸	逐	就	單	于	于	于	于
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

宗景皇帝	宗憲皇帝	宗肅皇帝	宗肅皇帝	世蕃	從周	虛中	觀祖	安昌	雍	關	彌	求	季	丹	帝	公	出子	札忽	甲	甲	虎	赤	尤	赤				
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同			
龍榮	豹子	文榮	仲固	子信	景和	光榮	元	究	皮	祖	祖	祖	祖	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗			
二	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同			
家	娥	亥	昂	衛	邑	瑤	寓	雲	裕	祐	朱	六	市	示	外	主	弗	本	丙	丙	丙	丙	丙	丙	丙			
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同			
協	建	謙	后	納	璋	京	景	桂	恒	完	祺	麒	麒	麒	麒	麒	麒	麒	麒	麒	麒	麒	麒	麒	麒			
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同			
序	書	松	升	勝	賦	湖	昭	敏	節	節	節	節	節	節	節	節	節	節	節	節	節	節	節	節	節			
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同			
輔	種	邦	博	玳	汎	弼	暉	敏	普	浮	真	邱	攻	獲	俾	湛	治	端	誕	冲	宜	益	先	善	存	壽	泰	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
慶	友	友	友	友	友	友	友	友	友	友	友	友	友	友	友	友	友	友	友	友	友	友	友	友	友	友	友	友
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同







壁勉昇油蓬律	帶級汾文卓謹	穎賓彬敏冰郭	符復福祀北班	蕭紫泌白	趙
同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同
遠淵緯偉威壽	通均亮呂茂廉	濂離隆霄邑梅	愈默治渤孟密	朴沐穆牧勃	標
同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同
孝孝孝行開開	啓應延延	奕之	國光幼幼	榮保永永	因爲
光恭基	開先芳	啓	應	延	延
同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同
君龜李希及金	向康巨希希	希吉漢	侃和	廣利	學
興年芳崗之全	中己川烈顏	孔甫超	和	之	之
同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同
景景魏魏	月慶迺	繼繼繼	化島光光	光光	廣廣
隆略天素嗣	慶慶慶	宜宜宜	伯龍后地	坡坡	利利
同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同
洪鴻孔乾獻	彥元獻獻	瓜元元	彥彥	國國	建建
芝草昭德能	博伯明	亮名	成成	恭恭	中中
同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同
時至之十師士	內充秀十	士至	師左	三	國國
敏規備謙古才	實成嗣成	行剛	錫錫	才	輪
同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同
若信臣信人	心商昌昌	祥之	相相	上	昌
拙圭典甫鳳唯	鳳唯	和	如	上	昌
同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同
同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同

英環博雲蔚貴	胤都煨育佑裕	有祐雄頤晏	李	邢子	初良	死心	樂氏	若子	存	存
同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同
甘游衍簡侃	珙綱康果行	楷錯父鑑衡	翽翽	翽翽	翽翽	翽翽	翽翽	翽翽	翽翽	翽翽
同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同
沂錦欽洪	琛願	易恩	碩	錫琪	變	熙	已	葵	義	儀
同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同
殿鉉儼恩	嶠傑樂	關完瑄	灌	瓊	瓊	瓊	瓊	瓊	瓊	瓊
同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同
苑光氏	德耳	時充	周	倚	渾	惲	材	在	早	虎
同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同
殿式植	壘	稷	清	純	惇	肅	鑾	祥	草	湘
同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同
瑒	泰	興	韶	載	宗	崇	潛	瞻	善	全
同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同
南	叻	芳	英	特	濱	御	典	吹	度	東
同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同	同同同同同



文	振	收	琮	會	詔	生	栖	松	晴	醉	順	海	錫	常	充	詩	根	鄂	洪	慶	理	敬	廣	悅	童	巖	綺	觀		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
弘	鴻	公	原	平	黃	皇	憲	京	君	燕	父	應	友	越	林	雲	預	默	密	孟	本	牧	弱	伯	防	篤	桐	甫		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
天	重	仲	疊	大	太	憲	正	正	汝	如	處	滄	荷	受	叔	讓	子	幸	審	審	審	時	之	時	子	秋	山	狂		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
烟	瀆	煥	卿	觀	群	融	就	休	求	祗	儀	基	琦	觀	夔	廣	楷	剛	盛	英	偃	奇	胤	晏	何	立	邦	文		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
曇	安	兌	湯	涉	水	選	會	遜	邵	隨	準	述	述	焯	進	訖	敞	常	賞	載	充	氏	時	登	侯	洪	謙	憲	源	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
烈	麟	邑	蒙	並	汶	復	武	博	白	妃	翠	春	定	浪	祺	點	適	中	忠	澄	旦	坦	塘	淨	鄰	湛	澹	豐	歸	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
元	宏	經	容	明	桂	敬	叔	高	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
承	承	承	承	承	承	承	承	承	承	承	承	承	承	承	承	承	承	承	承	承	承	承	承	承	承	承	承	承	承	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	

鐘	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
清	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	芳	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
存	素	宗	占	全	善	昭	節	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
長	長	長	重	澄	仲	仲	仲	中	忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
佩	抱	德	德	德	德	德	德	德	德	德	德	德	德	德	德	德	德	德	德	德	德	德	德	德	德	德	德	德		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
遂	夢	茂	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
敬	君	格	惟	日	管	維	維	流	麟	諒	萬	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
塗	敷	果	錦	燕	康	季	芥	父	嬰	瑛	燦	池	衍	宥	育	祐	夷	梁	植	開	杷	杏	信	茂	廷	燕	忽	玄		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同































弘	麟	徐	編	勉	關	平	班	班	寶	女	勉	長	坦	蕭	宋	崇	成	燧	福	俊	毅	襄	李	男	氏	察
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
若	之	嗣	與	元	兼	啓	景	繼	景	戈	果	宏	宏	皇	廣	玉	希	希	岩	學	學	學	李	李	應	行
時	當	宗	龍	白	濟	聖	熙	顯	行	仲	毅	中	仁	后	京	孟	得	傑	禮	煥	潔	錫	孫	鳳	舜	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
確	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
公	應	肱	龍	維	春	僧	度	毒	寶	陶	嶼	授	瑛	才	珠	詩	識	后	源	策	協	晦	宇	岐	昂	
補	麟	服	服	服	服	服	服	服	服	服	服	服	服	服	服	服	服	服	服	服	服	服	服	服	服	服
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
皓	炎	瑛	瑛	洪	光	羽	是	春	居	甘	士	渠	寶	名	立	唐	德	帥	詩	志	淑	震	舜	國	士	
暗	瑛	瑛	瑛	瑛	瑛	瑛	瑛	瑛	瑛	瑛	瑛	瑛	瑛	瑛	瑛	瑛	瑛	瑛	瑛	瑛	瑛	瑛	瑛	瑛	瑛	瑛
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
秀	容	茶	興	彥	彥	經	和	君	葵	球	覺	垣	瑛	邁	朋	滂	儲	堪	澤	鄒	鐘	遊	來	梧	迺	
全	變	丘	祖	昇	華	綸	元	祥	元	琳	範	範	範	範	範	範	範	範	範	範	範	範	範	範	範	範
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
紀	洗	洞	淨	下	下	于	洛	天	慶	九	亮	利	文	文	文	福	天	天	中	大	成	清	子	春	仁	
信	勁	水	源	公	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
甫	甫	甫	甫	甫	甫	甫	甫	甫	甫	甫	甫	甫	甫	甫	甫	甫	甫	甫	甫	甫	甫	甫	甫	甫	甫	甫
政	節	冉	曾	坦	沖	現	澤	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

文	復	必	百	柏	傳	傳	廷	庭	仲	仲	仲	端	祖	祖	宗	宗	宗	祖	正	成	處	如	承	承	承	純	純	純			
虎	粹	英	錄	年	正	真	召	玉	溫	光	淹	臣	述	幹	尹	古	凱	萬	平	大	厚	圭	謨	勳	勳	禮	誠	粹			
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同		
道	真	時	晉	昌	貴	金	再	傳	浦	履	拯	發	著	榮	振	授	授	訓	京	惜	惲	苗	彥	孝	九	連	真	妙			
淵	島	中	卿	裔	妃	符	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同		
知	深	大	信	葉	蘭	容	濼	誦	衷	焦	成	相	氏	坤	固	革	茅	登	登	登	登	登	登	登	登	登	登	登	登		
至	民	芳	卿	征	征	征	征	征	征	征	征	征	征	征	征	征	征	征	征	征	征	征	征	征	征	征	征	征	征		
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
僅	檀	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
條	忠	冲	快	欣	察	崇	晨	靖	升	植	珣	珣	莊	莊	莊	莊	莊	莊	莊	莊	莊	莊	莊	莊	莊	莊	莊	莊	莊		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
柯	公	下	實	仲	仲	帶	宗	世	如	子	公	公	元	權	譽	慶	皇	拱	下	應	雄	友	溥	敏	妃	範	芳	登	軒		
壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
柏	文	實	乘	慎	士	嗣	拱	許	刺	道	陶	昇	深	查	千	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	
壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	壽	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
洪	興	敏	憲	漢	光	崑	顯	義	合	岳	駁	龜	彝	奕	易	璧	頤	瀛	雄	祐	姚	真	真	真	真	真	真	真	真	真	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同







































仲舒	仲方	仲哲	仲文	道固	唐臣	善為	善為	昭宗	昭宗	承宗	如岳	仲勳	叔慶	儒秀	道慶	神慶	子慶	仁慶	信明	之明	子慶	子慶	子慶	子慶	日知	日用
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
娥	果	確	岳	輪	繼	裕	份	叙	悅	祖	思	立	與	邪	孟	文	文	德	敦	敦	南	伯	伯	泌	知	呈
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
傑	充	洪	緯	興	操	參	謙	殿	珠	圭	經	鄭	憲	建	觀	冠	劇	禾	旭	助	華	訓	玃	琦	義	休
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
傅	輔	甫	丕	仲	幽	冲	端	超	騰	襄	曾	組	琮	齋	植	靖	昭	仁	雲	彰	錫	叔	肅	鄭	松	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
秀	修	鴻	克	源	元	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
木	費	妙	履	利	弗	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
古	汝	國	渾	猷	慈	樺	元	荆	慧	儉	謙	慶	宏	昂	斯	幹	規	幾	輝	遠	貴	遇	奕	恩	衡	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
寶	寧	慈	遜	朝	貞	植	通	直	緒	端	棠	驥	遜	升	詢	選	惇	紹	劭	遜	稷	中	慎	進	份	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	

佐	材	氏	政	安	固	鴻	其	杞	昕	安	鶴	灝	寅	譽	孫	益	惟	九	川	嘉	應	文	文	文	文	文
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
益	應	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以	以
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
佩	汝	昭	小	崇	仲	仲	師	詩	子	錫	叔	順	克	克	國	從	士	志	皇	化	彥	彥	丘	丘	位	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
輪	治	昂	綬	綽	瀾	鵬	鄧	衍	瑛	峰	瑤	胤	昭	融	游	頤	夢	緯	文	持	廷	同	德	斗	不	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
質	協	鉉	登	澳	瑄	瑄	瑄	瑄	瑄	瑄	瑄	瑄	瑄	瑄	瑄	瑄	瑄	瑄	瑄	瑄	瑄	瑄	瑄	瑄	瑄	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
暹	瞻	銑	鄒	損	枕	塞	溫	植	成	述	俊	惇	曙	昇	頤	俊	實	振	造	璫	聚	頤	慕	從		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
意	祐	握	需	環	圓	遠	遠	亮	烈	立	環	倫	琳	林	茂	汚	辯	鳳	模	文	敏	敏	敏	敏		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
子	元	玄	弘	公	元	彥	彥	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	



仕	皇	敬	敬	景	月	廣	義	欽	永	延	安	胤	遠	國	由	結	論	歷	俞	沒	邁	穆	武	彬	博	
建	后	宗	宗	亮	卿	漢	夫	明	禧	安	仁	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	
三	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
維	春	邁	字	文	文	伯	德	天	廷	智	知	擇	存	則	宗	宗	宜	善	劍	昭	思	初	仲	相	叔	
家	卿	妻	遠	文	文	明	厚	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	
三	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
丹	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	
三	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
昭	節	如	汝	如	思	正	尚	藻	仔	公	公	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	
遠	夫	恩	鈞	且	廉	慶	綱	功	鈞	弼	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
光	君	邪	濃	蒙	懋	扑	冲	偉	澤	琮	砥	漳	慈	濟	愚	及	汲	含	莫	宗	崇	仇	文	得	得	
朝	陳	陳	陳	陳	陳	陳	陳	陳	陳	陳	陳	陳	陳	陳	陳	陳	陳	陳	陳	陳	陳	陳	陳	陳	陳	陳
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
著	親	冲	昭	玄	彦	憲	敬	京	順	錦	均	吉	寅	盛	安	伯	伯	珍	宣	天	廷	是	如	之	若	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
誠	漸	卓	誥	誥	誥	誥	誥	誥	誥	誥	誥	誥	誥	誥	誥	誥	誥	誥	誥	誥	誥	誥	誥	誥	誥	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
康	公	九	開	懋	懋	定	仲	仲	仲	仲	資	世	祖	祖	祖	祖	祖	祖	祖	祖	祖	祖	祖	祖	祖	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
三	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	

德	僧	僧	僧	正	汝	若	仁	子	日	公	公	元	皇	懷	希	延	延	王	王	王	王	王	王	王	王
興	淵	淵	淵	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅	誅
六	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
天	祖	宗	宗	千	瑞	若	思	士	元	登	端	端	端	端	端	端	端	端	端	端	端	端	端	端	端
三	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
盛	詢	擊	擊	擊	擊	擊	擊	擊	擊	擊	擊	擊	擊	擊	擊	擊	擊	擊	擊	擊	擊	擊	擊	擊	擊
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
聰	善	昇	爽	爽	爽	爽	爽	爽	爽	爽	爽	爽	爽	爽	爽	爽	爽	爽	爽	爽	爽	爽	爽	爽	爽
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
道	南	師	皇	宮	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼
者	其	其	其	其	其	其	其	其	其	其	其	其	其	其	其	其	其	其	其	其	其	其	其	其	其
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
頤	公	日	命	命	中	存	乾	彥	皇	會	授	子	雅	雅	雅	雅	雅	雅	雅	雅	雅	雅	雅	雅	雅
侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯	侯
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
龍	平	伯	朋	朋	達	丘	瓦	飛	大	緩	格	容	挺	澤	祚	瑞	瑞	瑞	瑞	瑞	瑞	瑞	瑞	瑞	瑞
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
澤	社	金	寄	寄	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
三	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同







崧	汝	蔣	慎	自	思	子	子	安	鳥	可	好	介	應	友	烈	禮	亮	霖	魁	進	汝	梅	形	德	守	齋	會	昭				
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同			
環	俱	拘	銀	輝	載	穎	悅	楷	嬰	瑞	羽	登	程	惟	瓦	腰	餘	墨	某	伯	伯	朝	大	大	宗	僧	世	監	守			
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同		
迪	鼎	鄭	覃	漫	卓	堂	全	先	節	相	選	勝	徐	洵	俊	麟	沐	麟	湘	信	震	來	乘	振	子	齊	功	曉	迦			
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同		
克	國	元	啓	九	可	嘉	學	行	恩	瑞	衛	筠	龍	琳	林	鳴	邁	木	茂	栗	富	普	敗	秘	璠	邈	濟					
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同		
不	敏	比	南	南	登	知	端	端	大	楚	千	千	全	接	思	思	士	處	時	若	昌	晉	師	銜	之							
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
志	權	項	榮	懷	會	極	榮	鈞	似	沂	登	幾	開	紆	煥	會	真	清	維	靈	今	瓦	鳴	名	禮	文	文					
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
異	有	安	安	安	魯	布	懋	榮	丰	芳	德	恬	點	繼	鼎	鼎	統	泉	植	升	松	準	肅	彞	集	傑	宸	悟				
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
朝	治	致	崇	如	子	賢	從	三	三	三	三	國	國	國	公	興	乾	元	乾	原	紀	紀	孝	孝	孝	孝	易					
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

大	則	宗	宗	宗	宗	宗	宗	崇	崇	善	石	樵	紹	性	成	正	世	正	顯	初	如	承	潤	潤	淳	淳	叔	叔								
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同			
文	復	富	敏	敏	萬	得	伯	邦	保	敦	敦	得	庭	鍾	中	嘯	仲	端	丹	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道			
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同		
易	顯	勤	貴	琦	暉	治	郝	仇	瀛	游	恩	衍	裕	樞	吳	馮	帝	擢	擢	應	緩	筠	維	與	翼	養	輔	鳳	夢							
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
平	長	就	譚	道	唐	宿	遂	遂	勝	遠	善	信	權	智	鯤	山	濱	參	弘	元	堅	傑	徑	京	敬	寬	煥	耀	玉							
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
簡	河	行	康	行	行	海	應	延	延	延	雲	雲	友	安	九	焯	瓦	立	鸞	楊	璧	約	平	博	泰	啟	助	禎	定							
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
生	淑	宿	若	如	初	象	祥	仲	子	師	子	時	時	從	國	元	元	賢	元	元	源	元	景	繼	景	景	景	景	景	景	景	景	景	景		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
說	奕	裔	永	映	育	融	垣	九	惟	令	野	李	夢	無	敏	萬	實	廷	中	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
誠	清	俊	詢	倘	權	權	師	渾	山	察	緯	恒	玄	飯	冠	寬	成	璣	求	祗	毅	洪	岐	喜	幹	康	康	康	康	康	康	康	康	康		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同



進	戰	時	氏	止	閏	安	華	誼	昂	欽	綺	合	仇	抗	雲	彭	立	川	民	奉	文	乘	文	萬	同	天
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
越	衛	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫	倫
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
孫	世	正	汝	汝	汝	道	舜	震	士	志	時	思	三	興	公	玄	元	啓	禾	舉	九	玉	騰	永	疏	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
九	金	開	胎	右	淵	沐	麟	芬	城	瑞	宗	沐	和	漢	悅	湯	令	耶	興	開	天	庭	仲	仲	端	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
序	恢	憲	蟠	造	璋	亦	革	溫	祖	九	禮	步	鳳	文	彌	兆	泰	祖	宗	紹	萃	之	克	顯	景	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
繼	醉	楚	似	元	欽	游	雅	遊	雅	雅	雅	雅	雅	雅	雅	雅	雅	雅	雅	雅	雅	雅	雅	雅	雅	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
鑄	瑒	泰	齊	誠	邵	純	循	勝	探	讓	元	瑛	賀	明	茂	夫	中	仲	銓	少	誠	師	九	烈	汝	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
岳	敦	說	易	樺	庚	六	待	詔	子	幹	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

寬	敬	身	野	季	簡	果	於	蔚	城	蘇	亮	翼	冰	賈	條	持	關	乘	道	純	峻	信	賈	齊	蘇	鐵
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
振	秀	梓	探	應	路	雄	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗	宗
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
禮	抑	度	昭	先	遂	瓜	煥	焦	溫	法	伯	博	德	太	加	昌	思	振	敬	去	應	彬	必	德	鍾	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
柔	同	君	亨	龍	有	王	麟	善	壬	助	辛	周	公	姜	忻	遠	忌	莊	炳	善	守	源	繼	煥	干	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
卿	煥	毅	景	九	維	夢	雙	夫人	智	威	大	行	貴	一	若	遠	氏	叙	同	琳	疎	達	順	喬	宗	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
首	常	秀	殿	欣	旭	恩	浩	海	智	祖	宗	林	關	潘	自	皇	希	王	鸞	帝	丹	素	清	佐	差	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
元	化	果	雅	舒	關	曼	真	仲	聖	公	悅	元	玉	竹	世	王	伯	德	察	籍	氏	充	斯	肆	項	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
童	道	昌	王	七	孔	皇	王	王	直	帝	棟	鳴	后	侯	惠	公	王	邦	弘	弘	元	赫	位	禱	下	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同











飲	楷	營	氣	因	隱	壹	一	安	融	道	維	魯	孟	文	非	伯	趙	長	長	忠	世	之	式	春	德	守	仁	之	
大	夫	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
雷	宗	武	溫	淵	亮	霄	立	猛	法	寶	房	童	德	冲	建	祖	宣	世	成	紳	生	盛	信	慈	恆	悟	儼		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
摩	德	洗	歡	咲	游	詹	榮	德	次	彦	光	簡	應	應	續	有	鯉	淵	膏	滿	復	字	度	沐	公	協	觀	煥	鉉
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
齊	其	林	林	卓	必	兆	仲	先	師	氏	爾	彦	彦	惠	景	會	仰	儀	陳	友	湖	本	範	適	賦	普	青		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
平	輔	先	常	欽	顧	斬	穎	王	履	天	蘇	召	之	景	季	注	豹	唐	泰	從	郭	恢	恭	游	抗	映	己	玉	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
浩	姿	嬰	瑛	園	葛	大	姑	懷	問	母	甫	帝	澄	通	存	楚	宣	青	綠	淨	義	聖	謙	之	康	學	懷	伯	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
一	宛	滑	緝	暉	孤	元	修	勒	立	書	長	天	氏	放	修	乾	孫	守	勝	雲	懷	嵩	鄒	密	山	源	洪	興	宮
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
老	六	杏	弄	同	同	天	同	三	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
門	孝	門	無	子	均	巫	冲	陶	泰	雍	存	子	思	子	乾	光	清	師	懷	休	賢	源	延	大	忠	叔	學	學	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

鳴	信	察	會	銓	涉	循	俊	讓	充	策	載	周	歸	至	收	山	洪	騰	欽	謙	瓊	詡	巖	直	達	恩	益	易	郁	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
昌	思	思	似	三	渾	公	拍	黃	皇	貴	居	希	貴	孝	應	逸	緯	諒	鉉	魯	煥	復	城	謚	彪	同	耿			
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
授	舜	俊	傳	申	喜	關	寄	祺	詡	卿	姬	革	沈	虞	直	益	名	蓬	文	武	敦	邦	敦	田	直	知	泰	少	昔	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
大	大	大	潭	世	景	集	剛	丘	黃	皇	關	東	駁	翻	賓	溥	預	荔	放	榮	備	潭	湛	仲	謙	愚	國	集	綽	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
鐘	楚	齊	鍾	卓	琛	恪	建	官	經	燦	頌	觀	恭	寒	貴	規	聘	庚	安	萬	九	美	鳳	龍	仲	似	世	嘯	宗	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
侯	楷	暉	昕	氏	文	實	朝	齊	壽	象	斯	斯	斯	斯	斯	斯	國	敬	敬	光	貴	或	木	適	潮	鎮				
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
至	齊	谷	脫	括	極	忌	幹	浩	異	衍	益	游	宗	宗	長	超	肅	肅	元	關	皇	君	王	丕	播	澄	肅	翔		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
師	賽	元	元	近	近	祇	漢	漢	應	永	一	郁	勇	禮	餘	陽	鵬	源	柄	城	樂	定	誕	湛	善	捷	循			
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	



























































































キヨヒ

キヨヒ	去非	陳興
キヨフ	鍾夫	程文海
キヨハ	居平	鄭餘慶
キヨム	虛無	黃丹書
キヨモン	魚門	程晉芳
キヨヤウ	漁洋	王士禛
キヨヨウ	巨容	朱冲
キヨラ	瑤羅	李紱
キヨライ	巨來	李揚
キヨエン	邇媛	趙伯玉
キヨエン	居垣	金光辰
キヨラウ	巨翁	徐應鑣
キラウ	李郎	祁班孫
キラク	希樂	劉毅
キラン	希蘭	李治
キリキ	綺里季	吳鳳
キリン	季倫	郭履
キリン	季倫	石崇
キリン	季倫	山簡
キリン	季倫	崔暹
キリン	季倫	簡仁瑞
キリン	起霖	皮龍榮
キリヤウ	季氏	盧祖尚
キリヨウ	季龍	夏侯燮
キレイ	季禮	盧勇
キレイ	季禮	王十朋
キレキ	季歷	公季
ギレツ	義烈	方於堯

ギレツ

ギレツ	義烈	班第
ギレン	季連	尹謙孫
キク	希呂	傅子雲
キク	季魯	盧原質
キク	季魯	仲由
キク	季魯	茅容
キク	季魯	茅固
キク	季魯	石邦憲
キク	季魯	完顏谷神
キク	季魯	章商臣
キク	季魯	魯世任
キク	季魯	傅映
キク	季魯	權景宜
キク	季魯	曹叔遠
キク	季魯	俞浙
キク	季魯	朱文奎
キク	季魯	劉誼
キク	季魯	可觀
クアン	集菴	同恕
クアン	愚庵	李希顏
クアン	愚庵	朱鶴齡
クアン	愚庵	智旭
クアン	愚庵	陳後
クアン	愚庵	牛運慶
クアン	愚庵	無愷
クアン	愚庵	嚴樹孫
クアン	愚庵	韓超

グウチ

グウチヤウ	綽長	梅庚
グウトウ	峻响	巢得盛
グウドウシ	空同子	李夢陽
グウラウ	愚迂翁	方暉
グキ	虞姬	媚之
グキ	虞姬	鄧夢琴
グキ	虞姬	江七解
グキ	虞姬	陳之奇
グキ	虞姬	江少虞
グキ	虞姬	王景賢
グキ	虞姬	鄒旭光
グキ	虞姬	張師馬
グキ	虞姬	唐龍
グキ	虞姬	張師載
グキ	虞姬	梅清
グキ	虞姬	施蘭章
グキ	虞姬	陶大臨
グキ	虞姬	帝舜
グキ	虞姬	沈遇
グキ	虞姬	茅民
グキ	虞姬	劉昌嗣
グキ	虞姬	中公巫臣
グキ	虞姬	胡渭
グキ	虞姬	求那跋摩
グキ	虞姬	弗若多羅
グキ	虞姬	求那跋陀
グキ	虞姬	陸羣
グキ	虞姬	錢鏐
グキ	虞姬	洪翁

クニイ

クニイ	君異	杜越
クニイ	君異	董純
クニイ	君異	袁九淑
クニイ	君異	陳淳
クニイ	君異	邢惇
クニイ	君異	畢祖高
クニイ	君異	李潛
クニイ	君異	顧和
クニイ	君異	牟長
クニイ	君異	盧芳
クニイ	君異	曾治風
クニイ	君異	甘廷壽
クニイ	君異	陳傅真
クニイ	君異	陳爾
クニイ	君異	謝天隱
クニイ	君異	謝中溫
クニイ	君異	韓相
クニイ	君異	毛國華
クニイ	君異	于祺
クニイ	君異	方遠辰
クニイ	君異	群玉山樵
クニイ	君異	曾用虎
クニイ	君異	陳侃
クニイ	君異	譙玄
クニイ	君異	陸夢龍
クニイ	君異	馬錄
クニイ	君異	杜祐
クニイ	君異	馮立

二一

キヨカ

キヨカウ	巨衡	周銓
キヨギン	去矜	沈謙
キヨク	去矜	方克勤
キヨク	完顏烏野	譚紳
キヨク	曲江	蒙潤
キヨク	玉岡	張九齡
キヨク	玉几	陳撰
キヨク	玉和	周必大
キヨク	玉華	米應祥
キヨク	玉華	施世瑛
キヨク	玉京	卞養
キヨク	玉卿	潘珍
キヨク	玉鉉	陳奇瑜
キヨク	玉吾	俞瑛
キヨク	玉聲	杜京產
キヨク	玉聲	郭文振
キヨク	玉聲	張憲
キヨク	玉聲	張國維
キヨク	玉聲	李重華
キヨク	玉聲	弘吉刺皇后
キヨク	玉聲	郭寶玉
キヨク	玉聲	吳正
キヨク	玉聲	宋琬
キヨク	玉聲	杜暉
キヨク	玉聲	韓績
キヨク	玉聲	倪元壽
キヨク	玉聲	鈕琇
キヨク	玉聲	虞謙
キヨク	玉聲	戚勳

ギヨク

ギヨク	玉階	唐廷
ギヨク	玉泉	戴進
ギヨク	玉泉	袁謙
ギヨク	玉泉	周清元
ギヨク	玉川	李昌齡
ギヨク	玉川	張棟
ギヨク	玉川	盧全
ギヨク	玉堂	程叔達
ギヨク	玉池	張路
ギヨク	玉池	鄧忠臣
ギヨク	玉池	許瑛
ギヨク	玉池	陳琳
ギヨク	玉池	劉世尹
ギヨク	玉池	賈釗
ギヨク	玉池	洪炎
ギヨク	玉池	黃叔燦
ギヨク	玉池	丁蓮
ギヨク	玉池	嚴廷
ギヨク	玉池	車若水
ギヨク	玉池	王莽
ギヨク	玉池	盧必陞
ギヨク	玉池	藍鼎元
ギヨク	玉池	汪繹
ギヨク	玉池	宋濂
ギヨク	玉池	潘士謙
ギヨク	玉池	祖秀實
ギヨク	玉池	張忠
ギヨク	玉池	丘越

キヨケ

キヨケイ	巨卿	張宏
キヨケイ	巨卿	范式
キヨケイ	巨卿	申屠剛
キヨケイ	巨卿	柳宏
キヨケイ	巨卿	童存德
キヨケイ	巨卿	楊節
キヨケイ	巨卿	徐世溥
キヨケイ	巨卿	山濤
キヨケイ	巨卿	孫洙
キヨケイ	巨卿	趙仲湜
キヨケイ	巨卿	趙相
キヨケイ	巨卿	劉希仁
キヨケイ	巨卿	宣秉
キヨケイ	巨卿	武億
キヨケイ	巨卿	李愷
キヨケイ	巨卿	鄧林
キヨケイ	巨卿	蔡清
キヨケイ	巨卿	倪濤
キヨケイ	巨卿	曹昭
キヨケイ	巨卿	樓鏞
キヨケイ	巨卿	李燾
キヨケイ	巨卿	方岳
キヨケイ	巨卿	衛恒
キヨケイ	巨卿	馮敏昌
キヨケイ	巨卿	熊開元
キヨケイ	巨卿	姜日廣
キヨケイ	巨卿	韓不疑
キヨケイ	巨卿	朱昂
キヨケイ	巨卿	索緒

キヨシ

キヨシウ	巨州	王濟
キヨシウ	巨州	路鐸
キヨシウ	巨州	姚漢
キヨシウ	巨州	尹謙孫
キヨシウ	巨州	儀智
キヨシウ	巨州	呂本中
キヨシウ	巨州	曾從龍
キヨシウ	巨州	楊潯
キヨシウ	巨州	馬稷
キヨシウ	巨州	趙東曠
キヨシウ	巨州	葉伯巨
キヨシウ	巨州	陳綱
キヨシウ	巨州	劉綜
キヨシウ	巨州	李演
キヨシウ	巨州	王機
キヨシウ	巨州	張九
キヨシウ	巨州	原涉
キヨシウ	巨州	李澄中
キヨシウ	巨州	王鼎
キヨシウ	巨州	王休
キヨシウ	巨州	劉樞
キヨシウ	巨州	王師道
キヨシウ	巨州	李時
キヨシウ	巨州	郭安
キヨシウ	巨州	汪軌
キヨシウ	巨州	恭王
キヨシウ	巨州	縣九思

二〇







































コクテ	コクテイ 克貞 葉諒 コクハウ 國寶 賀琛 コクハウ 國寶 張庭珍 コクハウ 國寶 周穉 コクハウ 國寶 劉國傑 コクハウ 國寶 吳頌 コクハウ 國寶 宋之珍 コクビ 克美 石衍之 コクビ 國美 謝儒 コクヒン 國寶 王利用 コクビン 克敏 吳訥 コクヘイ 谷平 李中 コクホ 國輔 汪文和 コクメイ 國明 張澄 コクメイ 國明 曹鑑 コクメイ 國明 盛昭 コクメイ 國明 曾鑑 コクメイ 國明 杜如晦 コクメイ 國明 郭準 コクメイ 國明 陳頤 コクヨウ 克用 虞湛 コクヨウ 克用 朱公選 コクヨウ 克用 羅乘忠 コクヨウ 克用 太祖文皇帝 コクヨウ 克用 趙殿昂 コクリヤウ 國梁 張興材 コクリヤウ 國禮 凌千秋 コクレイ 國禮 何敬容 コクワウシヤウコウ 黑王相公 王德用	コクワクサイ 古獲齋 毛芳升 コクワンダウ 古權室 田嬰 コクエイ 國衛 沈文阿 コケイ 姑溪 李之儀 ゴクタイフ 五穀大夫 百里奚 ゴクダウジン 五湖道人 陸師 コサン 壺山 張恂 コサン 壺山 宋自選 コサン 壺山 黃得功 コシ 虎止 王故 コシ 胡氏 元義妻 コシ 古師 王汝訓 コシ 吳子 吳起 コシグワ 胡士瓦 完顏九恭 ゴシエンクワン 五箇仙館 秦 復恩 コシン 虎臣 鄒之麟 コシン 虎臣 金聖桓 コシン 虎臣 柴紹炳 コシンクン 吳真君 吳猛 コシヤ 胡沙 完顏承裕 コシユク 固叔 史淵堅 コセイ 古清 桑惟翰 コセン 古泉 林夢正 ゴソ 五祖 法演 ゴソウゼンシ 悟宗禪師 趙協謙 清丁	コソソ 古村 瞿汝臣 コソソ 古塘 錢載 コダウ 顧道 吳拭 コタン 古澹 張子俊 ゴチ 五知 李若拙 ゴチウ 虛中 典成 ゴチダウ 五知堂 任布 ゴツリ 兀里 耶律羽之 ゴツリ 兀里 耶律烈 ゴツロ 兀里 耶律京 ゴツロホ 兀里 耶律吉義 ゴトウ 梧桐 完顏克 ゴトウ 梧桐 完顏弘古 ゴトク 胡篤 耶律弘古 ゴトクキン 胡獨董 蕭常哥 ゴトクキン 胡獨董 蕭季穆 ゴトクキン 胡獨董 耶律德不 ゴトツキン 胡突董 蕭廷魯 ゴトフ 吾都不 完顏鶴壽 ゴナンフシ 湖南夫子 陳純夫 ゴノウ 古農 余蕭客 ゴハク 古白 陳元素 ゴフ 古風 獨孤郁 ゴホ 五父 公子侗 ゴホウ 五峰 文伯仁 ゴホウ 五峰 翁挺 ゴホウ 五峰 胡宏 ゴホントイシ 悟本大師 良价 ゴマニ 胡麻愈 完顏璋	コミシ 古民 陳梓 コニイ 衷以 謝子襄 コニイツ 坤一 錢載 コンガクミン 困學民 鮮于樞 コンク 根矩 邵原 コンケン 長軒 俞君選 コンゴ 昆吾 王錦 コンサイ 長齋 尤同 コンサン 長山 孫嵩 コンサン 長山 左耳玉 コンジヨウ 昆錫 王潭 コンセイ 混成 董晉 コンセキ 崑石 劉原漆 コンゼン 渾然 顏元 コンチウ 昆仲 韓紱 コンテイ 昆庭 陸塔 コンノウ 坤能 江聲 コンホ 昆南 郭煥 コンホ 崑圖 黃叔琳 コンリン 崑林 魏喬介 コンリヤウ 崑良 王世瑋 コンロンサンバウ 崑崙山房 史鑑 ゴモンヤセウ 吳門野樵 史鑑 ゴラウ 五郎 杜生 コラツ 胡刺 完顏文 コラツ 胡刺 烏古論仲溫 コリウ 五柳 陶潛 コリカウ 胡里綱 蒙古綱
-----	--	---	--	---

コリカ	コリカフ 胡里甲 完顏宗美 ゴリフ 吾里不 完顏琦 コレイ 古靈 陳襄 コロ 胡魯 完顏宗固 コ井ン 五院 陽照	サイシヨ 載初 盧群 サイセイ 歲星 汪喬年 サイセン 濟川 何濤 サイダウ 載道 彭俞 サイダウ 濟道 夏休 サイダウジン 榮道人 魏賢 サイチウ 載仲 王持盈 サイチウ 材仲 張椿 サイチウ 在中 陳美 サイテイ 濟鼎 胡次炎 サイテン 在田 羅龍 サイトウ 采東 鄭自璧 サイトク 載德 曹輔 サイチイ 載寧 張肯堂 サイヒ 際飛 黃越 サイフク 載福 楊岳斌 サイフツ 載物 彭暉 サイフツ 載物 陳翊 サイホウ 才甫 梁子美 サイミン 濟民 陳思濟 サイメイ 際明 侯君權 サイメイ 際明 史孟麟 サイヤウ 載陽 錢宣 サイリ 賽里 吳城 サイリクサウダウ 完顏宗賢 在陸阜堂 儲欣 耿定向 在倫	サイエン 濟遠 汪沅 サイラウ 才翁 王英孫 サイ 壯 胡藩 サイ 壯 垣之 サイ 壯 曹景宗 サイ 壯 岑彭 サイ 壯 張郃 サイ 壯 史崇 サイ 壯 劉康祖 サイ 壯 趙克國 サイ 壯 淳于旼 サイ 壯 張仲武 サイ 壯 胡淵 サイ 壯 薛真度 サイ 壯 鄭當時 サイ 壯 魏擘 サイ 壯 完顏阿那 サイ 壯 草庵 道因 サイ 壯 草庵 老融 サイ 壯 曹晏嬰 サイ 壯 曹晏嬰 サイ 壯 周瑄 サイ 壯 胡拱辰 サイ 壯 張登 サイ 壯 譚大初 サイ 壯 高天錫 サイ 壯 李皇后 サイ 壯 吳成 サイ 壯 衛穎 サイ 壯 溫紹原	サイウ 莊裕 徐問 サイウ 葉維 董基 サイウ 臧一 朱勝非 サイウ 草隱 蕭烏野 サイウ 葉雲 饒烈 サイウ 雙慶 夏休 サイウ 莊介 劉一儒 サイウ 莊介 吳甘來 サイウ 莊介 侯昂 サイウ 莊介 侯方城 サイウ 莊介 周陳國大員公 サイウ 莊格 岳鍾瑛 サイウ 莊格 朱桂根 サイウ 莊格 李榮保 サイウ 莊格 陸空 サイウ 莊簡 元絳 サイウ 莊簡 開淵 サイウ 莊簡 陸光祖 サイウ 莊簡 鄭文盛 サイウ 莊簡 喬宇 サイウ 莊簡 張悅 サイウ 莊簡 李偉 サイウ 莊簡 張赫 サイウ 莊簡 伯顏不花的斤 サイウ 莊嚴 葉映榴 サイウ 莊嚴 伯顏不花 サイウ 莊毅 王紀 サイウ 莊毅 毛勝
-----	--	---	---	---



サウギ	莊毅	孫璋
サウキ	莊偉	舒化
サウキ	莊義	張永明
サウキ	莊義	完顏冀室
サウキ	莊果	魏校
サウキ	莊果	拉布敦
サウキ	莊果	德楞泰
サウキ	莊果	蕭譽江
サウキ	莊果	潘皇后
サウキ	莊敬	宋縯
サウキ	莊惠	楊輔
サウキ	莊惠	楊皇后
サウキ	莊惠	胡照
サウキ	莊潔	安正同
サウキ	莊獻	楊伯璠
サウキ	莊憲	張助
サウキ	莊憲	王妃
サウキ	莊元	馬世龍
サウキ	莊元	胡一桂
サウキ	莊元	鮑桂星
サウキ	莊元	本寂
サウキ	莊元	曹原一
サウキ	莊元	莊周
サウキ	莊元	楊收
サウキ	莊元	錢買
サウキ	莊元	陳潤年
サウキ	莊元	朱源
サウキ	莊元	俞諫
サウキ	莊元	劉天和
サウキ	莊元	完顏閼母

サウジ	莊襄	沐崑
サウジ	莊襄	完顏撒高喝
サウジ	莊襄	仇成
サウジ	莊襄	侯瑛
サウジ	莊襄	夏皇后
サウジ	莊襄	梁適
サウジ	莊襄	田滋
サウジ	莊襄	羅弘信
サウジ	莊襄	趙達
サウジ	莊襄	孟奎
サウジ	莊襄	段志玄
サウジ	莊襄	劉銘傳
サウジ	莊襄	洪君祥
サウジ	莊襄	王乾
サウジ	莊襄	劉秉忠
サウジ	莊襄	褚蒙
サウジ	莊襄	曹冲
サウジ	莊襄	陳文
サウジ	莊襄	趙瑛
サウジ	莊襄	劉東星
サウジ	莊襄	宋景
サウジ	莊襄	李俊民
サウジ	莊襄	陳漢
サウジ	莊襄	魏時亮
サウジ	莊襄	程叔達
サウジ	莊襄	張可大
サウジ	莊襄	韓性
サウジ	莊襄	江忠濟

サウセ	莊節	王文雄
サウセ	莊節	童添雲
サウセ	莊節	王復
サウセ	莊節	葛雲飛
サウセ	莊節	蕭翰慶
サウセ	莊節	周密
サウセ	莊節	班昭
サウセ	莊節	張覺民
サウセ	莊節	彭任
サウセ	莊節	方秉白
サウセ	莊節	嚴嘉賓
サウセ	莊節	汪毅
サウセ	莊節	黃潤昌
サウセ	莊節	桑萃翁
サウセ	莊節	周吳
サウセ	莊節	周信
サウセ	莊節	黃祖舜
サウセ	莊節	葉柏大士
サウセ	莊節	張若化
サウセ	莊節	楊懿
サウセ	莊節	章榮
サウセ	莊節	苗授
サウセ	莊節	關籍
サウセ	莊節	張茂良
サウセ	莊節	韓績
サウセ	莊節	胡季堂
サウセ	莊節	陳謙
サウセ	莊節	楊鼎
サウセ	莊節	陶諧

サウビ	莊敏	許詰
サウビ	莊敏	崔恭
サウビ	莊敏	仲師仲
サウビ	莊敏	趙勝
サウビ	莊敏	賈文備
サウビ	莊敏	徐弘基
サウビ	莊敏	曹儀
サウビ	莊敏	馬燧
サウビ	莊敏	王珍
サウビ	莊敏	常惠
サウビ	莊敏	石保育
サウビ	莊敏	許維欽
サウビ	莊敏	趙楷
サウビ	莊敏	薛興
サウビ	莊敏	姚燾孫
サウビ	莊敏	饒魯
サウビ	莊敏	源子昌
サウビ	莊敏	郭皇后
サウビ	莊敏	李繼龍
サウビ	莊敏	韓延敏
サウビ	莊敏	劉義仲
サウビ	莊敏	郭都
サウビ	莊敏	李若拙
サウビ	莊敏	高懷德
サウビ	莊敏	陳順仁
サウビ	莊敏	完顏幹魯古
サウビ	莊敏	蘇舜欽
サウビ	莊敏	杜芥

サウレ	壯烈	李佐厚
サウレ	壯烈	隋錦
サウレ	壯烈	吳澄
サウレ	壯烈	嚴嘉謀
サウレ	壯烈	完顏守貞
サウレ	壯烈	潘濬
サウレ	壯烈	吳廷
サウレ	壯烈	汪若楫
サウレ	壯烈	周嗣恭
サウレ	壯烈	馮允中
サウレ	壯烈	黃鎮
サウレ	壯烈	趙魯佐
サウレ	壯烈	陸傑
サウレ	壯烈	杜芥
サウレ	壯烈	韓建
サウレ	壯烈	坐嘯軒
サウレ	壯烈	崔如岳
サウレ	壯烈	何焯
サウレ	壯烈	杜清
サウレ	壯烈	辛昆
サウレ	壯烈	完顏思敬
サウレ	壯烈	蕭皇后
サウレ	壯烈	紇石烈
サウレ	壯烈	蕭慶幹
サウレ	壯烈	耶律順的
サウレ	壯烈	弘吉刺妃
サウレ	壯烈	耶律敵魯
サウレ	壯烈	耶律實忠
サウレ	壯烈	耶律老古
サウレ	壯烈	黃鎮
サウレ	壯烈	左田

サンア	山卷	無懼
サンア	山卷	章益
サンア	山卷	高友
サンア	山卷	嚴益
サンア	山卷	陸龍
サンア	山卷	易光
サンア	山卷	文彭
サンア	山卷	三教遠逸
サンア	山卷	趙
サンア	山卷	蕭楚
サンア	山卷	三顧隆客
サンア	山卷	三紅才子
サンア	山卷	黃庭堅
サンア	山卷	沙刺班
サンア	山卷	賈雲石海涯
サンア	山卷	羅如棋
サンア	山卷	王宏機
サンア	山卷	沈進
サンア	山卷	葉茂才
サンア	山卷	舒泉
サンア	山卷	梁同書
サンア	山卷	三日俱射
サンア	山卷	周顯
サンア	山卷	三車和尚
サンア	山卷	魏
サンア	山卷	三瑞堂
サンア	山卷	蔣嵩
サンア	山卷	梁詩正
サンア	山卷	汪儀鳳
サンア	山卷	俞宗亨

サンセ	山泉翁	趙必邁
サンセ	山泉翁	蕭實妃
サンセ	山泉翁	章如愚
サンセ	山泉翁	山中宰相
サンセ	山泉翁	陶弘景
サンセ	山泉翁	徐溶
サンセ	山泉翁	祝昌
サンセ	山泉翁	王繼勳
サンセ	山泉翁	廣峻
サンセ	山泉翁	方干
サンセ	山泉翁	林礪
サンセ	山泉翁	方逢辰
サンセ	山泉翁	吳玉樞
サンセ	山泉翁	張錦芳
サンセ	山泉翁	三風太守
サンセ	山泉翁	吳綺
サンセ	山泉翁	鄭汝岡
サンセ	山泉翁	衛謙
サンセ	山泉翁	賞環
サンセ	山泉翁	樊穆仲
サンセ	山泉翁	魯九皋
サンセ	山泉翁	張翼星
サンセ	山泉翁	張僧浩
サンセ	山泉翁	吳廷楨
サンセ	山泉翁	章溫
サンセ	山泉翁	山林友
サンセ	山泉翁	程惟象
サンセ	山泉翁	耶律仁先
サンセ	山泉翁	錢弘佐

シ	曹植
シ	燕伋
シ	原憲
シ	紇石烈牙吾塔
シ	食益
シ	伊尹
シ	子阿
シ	鍾離意
シ	虞溥
シ	范平
シ	師安石
シ	畢開懋
シ	王用亨
シ	王勃
シ	皇甫湜
シ	李遷
シ	沈光文
シ	羅點
シ	薛船之
シ	董嗣
シ	王樹青
シ	皇甫謐
シ	陶世徽
シ	張洎
シ	韓公裔
シ	百齡
シ	李皇后
シ	王問
シ	有若
シ	冉求
シ	何求



























































































